

外左ニ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 組織
- 四 事務所
- 五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 六 第一回拂込ノ金額
- 七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定
- 八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
- 九 組合員タル資格ニ關スル規定
- 十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
- 十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルキハ其ノ時期又ハ事由

信用組合ノ區域ハ市町村ノ區域以內ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

- 一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項
- 二 設立許可ノ年月日
- 三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 産業組合ト其設立ノ登記ノ申請ト共ニ左ノ事項ヲ記載シタル組合原簿ヲ其ノ主タル事務所所在地ノ裁判所ニ差出スヘシ

- 一 出資ノ總口數
- 二 拂込ミタル出資ノ總額

三 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名住所及保證金額

四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名住所

前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ差出シタル帳簿ニ之ヲ準用ス但シ前項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ定款ヲ以テ一事業年度内一回又ハ數回ニ期日ヲ定メテ其期日後二週間内ニ記載ヲ爲スコトヲ得

裁判所ニ差出シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十五條ノ二 行政區劃又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿又ハ組合原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス大ニ若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ

前項大ニ若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿又ハ組合原簿ノ記載ヲ變更スヘシ

第一項ノ規定ハ事務所所在地ニ關スル定款ノ

規定ニ之ヲ準用ス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週間トアルヲ二週間トス

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ組合員ノ有スヘキ出資口數ハ十口ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ

七百八十六

同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ
理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條

理事ハ定款及總會ノ決議錄ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 各組合員ノ氏名、住所

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資一口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條

理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承

認ヲ求ムヘシ

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第

七百八十七

六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組
ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ
定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總會ヲ設クル
コトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用
ス但シ總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲
スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘ
シ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス
定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サ
レハ其ノ效力ヲ生セズ

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議
ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内
ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議
アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告
スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出
資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之
ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨
濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ
出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組
合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄
ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘ
シ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サ
レハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ
外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金
ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ
一以上ヲ積立ツヘシ

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス
第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ
質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退
第四十九條 無限責任組合ニ加入セムトスル者

ハ總會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタ
ルト否トチ間ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於
テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告
ヲ爲スヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコ
トヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス
一 組合員タル資格ノ喪失
二 死亡
三 破産

四 禁治産
五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合
員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其
ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル
所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請
求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱

退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依
リテ之ヲ定ム

但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ
依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三
箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇
年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三
箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産
ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキ
ハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損
失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル
債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ
停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在
リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權
者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後
二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ハ特別ノ契約ヲ以テ其ノ期間ヲ延
七百八十九

長スルコトヲ妨ケス
前二項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之
ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及
郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事ヲシテ組
合ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ組合ノ
事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命
令ヲ發シ及處分ヲ行フ

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ
依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ
又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ
他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ
地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事
若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止
シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併

四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ

五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ
準用ス但シ無限責任組合ノ合併ニ付テハ總組
合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破
産ノ場合ヲ除クノ外二週間内ニ各事務所ノ所
在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合
併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ
非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週
間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續ス
ル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因
リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲
シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設
立ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因
リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタ
ル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ

組織ヲ變更スルコトヲ得
組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少ス
ルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手
續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ
解散ニ之ヲ準用ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理
事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滞ナク組合財産
ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り
之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ
辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組
合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人
ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出
シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十四條 清算人ノ解任アリタルトキハ二週
間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲
シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七十五條 民法第七十三條乃至第八十三條ノ

規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス但シ同規
定中一週間トアルハ二週間トス

第九章 産業組合聯合會及産業組合 中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組
合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金
ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)
- 二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工
セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合職合
會)
- 三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加
工シ又ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却スル
コト(購買組合聯合會)
- 四 所屬組合カ其ノ組合員ニ使用セシムル物
ヲ所屬組合ニ貸付スルコト(生産組合聯合
會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ
組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會
ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス
産業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任

ノ二種トス

保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ道府縣以内ノ範圍ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ主タル事務所所在地ノ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルニ簡以上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第一項但書又ハ前項ノ規定ニ依リ設立シタル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事

七百九十二

ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社団法人トス
産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ
産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 名稱
 - 二 事務所
 - 三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定
 - 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
 - 五 資産ニ關スル規定
 - 六 役員ニ關スル規定
 - 七 會議ニ關スル規定
 - 八 事業ノ執行ニ關スル規定
 - 九 定款ノ變更ニ關スル規定
 - 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
 - 定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
- 第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタ

ルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項

三 資産ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ

七百九十三

組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條、第六條、第七條、第十條、第十五條ノ二、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號、第四號第五號、第六十三條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條、第九十四條、第九十八條、第九十九條、第一百一條、第一百二條第二項、第一百三條乃至第一百五條及民法第六十二條、第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上參百圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

七百九十四

- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第四十條、第四十一條、第四十三條乃至第四十六條、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ
- 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第

二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

- 一 申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
- 二 定款
- 三 地方長官ノ許可書又ハ其ノ認證アル謄本
- 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額ヲ證スル書面
- 五 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ加入ヲ證スル書面

第九十八條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事

項ノ變更ノ登記ハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ組合原簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス

第九十九條 出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本
- 二 第四十條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第一百條 組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第一百一條 合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請書ニハ組合カ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所

七百九十五

(四十二年法律第二十七號改正ノ附則)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前産業組合カ裁判所ニ差出シタル組合
員名簿ハ組合原簿ト看做ス

●産業組合法施行規

則(明治四十二年八月)
(農商務省令第三十五號)

- 第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス
前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得
豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス
豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ
- 第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

- ハ監督官廳ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ
- 第九十八條第一項ノ規定ハ出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少、組合ノ解散及組合ノ合併ニ因ル變更、設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此限ニ在ラズ
- 非訟事件手續法第三百六條乃至第三百三十八條、第四百一條乃至第四百五十一條、第四百五十四條乃至第四百五十八條、第四百六十三條乃至第四百六十五條及第四百七十五條乃至第四百七十七條ノ規定ハ産業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス
- 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ
- 北海道ニ於ケル産業組合ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ千人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ

總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承諾ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數及出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數及出資口數ノ異動
- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還
- 四 總會又ハ總代會ノ決議
- 五 事業ノ狀況
- 六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ

貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數貯貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニ在リテハ生産シタル物ノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ使用ノ功程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ在リテハ使用ノ功程ヲ表示スヘキ事項

七 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ進用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ
前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ

一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ理由書、總會又ハ總代會ノ決議録、財産目錄及貸借對照表ヲ添付スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス
持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款ヲ添付スヘシ
第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附

第二十二條 本則ハ明治三十三年勅令第二百五十五號ニ依リ設立スル産業組合ニハ之ヲ適用セス

●産業組合登記取扱

手續(司法省令第十七號)

- 第一條 産業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 産業組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第三條 産業組合中央會登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 産業組合登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第五條 産業組合登記受附帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
- 第六條 登記所ニハ登記簿、組合原簿、聯合會原簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
 - 一 謄本抄本證明書交付帳
 - 二 申請書囑託書通知書附屬書類綴込帳

シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添付スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 産業組合法ノ規定ニ依リ理事又ハ監事ニ關スル登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ届出ツヘシ

附則

第二十一條 本則ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 三 受領證原符元帳
- 四 決定原本綴込帳
- 五 登記簿謄本綴込帳
- 六 登記簿交付帳
- 七 抗告書類綴込帳
- 八 印鑑簿
- 第七條 前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一ノ年毎ニ別冊ト爲スヘシ
- 第八條 組合原簿ハ附録第五號乃至第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 聯合會原簿ハ附録第五號及ヒ第七號雜形ニ準シ之ヲ調製スヘシ
- 第九條 組合原簿ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用ウヘシ
- 第十條 申請人ハ組合原簿ノ表紙ニ署名捺印スヘシ
- 組合原簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ
- 前二項ノ場合ニ於テ理事又ハ監事カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
- 第十一條 無限責任組合及ヒ保證責任組合ノ區域ヲ定メタル場合ニ於テハ其區域ニ屬スル行

- 政區畫又ハ大字若クハ字ノ名稱ヲ組合原簿ノ表紙ノ裏面ニ記載スヘシ
- 第十二條 組合原簿カ二冊以上ナルトキハ申請人ハ各冊ノ表紙ニ其冊數ヲ記載スヘシ
- 第十三條 組合原簿、聯合會原簿及ヒ印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ
- 受附帳及ヒ登記簿謄本綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
- 決定原本綴込帳及ヒ抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ
- 謄本抄本證明書交付帳、受領證原符元帳及ヒ登記簿交付帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ
- 前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
- 第十四條 産業組合法第九條第二項但書ノ場合ニ於テハ設立登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ
- 第十五條 組合カ其主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ更ニ組合原簿ヲ差出スヘシ但組合原簿ニハ現存セル事項ノミヲ記載スヘシ

- 第十六條 産業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ定款、總會ノ決議錄又ハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面及ヒ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附シ且組合原簿ヲ差出スヘシ
- 第十七條 産業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ組合カ其組織ヲ變更シタル場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ其登記ヲ申請スルトキハ同時ニ組合原簿ヲ差出スヘシ
- 第十八條 裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於ケル登記ノ申請書ヒ、裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ
- 第十九條 登記ノ申請書ニハ登記事項ニ付キ總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄、總組合員ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ其同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第二十條 産業組合法第二百二條第二項ニ依リ登記ノ囑託ニ付テハ登録稅ヲ要セス
- 第二十一條 無限責任組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其申請書ニ變更シタル事項ノ記載アル用紙

- ヲ編綴セル組合原簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ但組合員ノ加入ニ因ル組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ハ此限ニ在ラス
- 第二十二條 無限責任組合員ノ加入ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ノ外加入シタル組合員ノ加入ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 保證責任組合員ノ加入ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ加入シタル組合員ノ保證金額ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第二十三條 前條ノ場合ニ於テハ組合ニ加入シタル組合員ニ付キ追加組合原簿（甲部用紙ヲ除ク）ヲ差出スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ加入シタル組合員カ多數ナルトキハ申請書ニハ組合原簿ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル
- 第十條ノ規定ハ第一項ノ追加組合原簿ニ之ヲ準用ス
- 第二十四條 前條ノ規定ニ依リ差出シタル追加

組合原簿ハ前ノ組合原簿ニ編綴シ登記官吏其
綴目ニ契印スヘシ

第二十五條 前三條ノ規定ハ組合員ニ非サル者
カ無限責任組合員又ハ保證責任組合員ノ持分
ヲ讓受ケタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ
申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二十三條及ヒ第二十四條ノ規定
ハ産業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ合併後
存續スル無限責任組合又ハ保證責任組合カ組
合員ノ増加シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變
更ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 第十九條ノ規定ハ組合原簿ノ記載
ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 組合カ産業組合法第十五條ノ二第
二項ノ規定ニ依リ登記所ニ通知ヲ爲ス場合ニ
於テハ通知書ニ大字若クハ字又ハ其名稱ニ變
更アリタル事由及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第二十九條 登記官吏カ前條ノ通知ヲ受ケタル
トキハ受附帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シ
タル組合ノ名稱、受附ノ年月日及ヒ受附番號
ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號
ヲ記載スヘシ但通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的

組合原簿ノ表紙ニ登記番號、受附ノ年月日及
ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第三十五條 組合原簿ハ各組合毎ニ各別ニ之ヲ
保存スヘシ但有限責任組合原簿ハ之ヲ合綴ス
ルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ合綴シタル帳簿ニ目
録ヲ附スヘシ

第三十六條 組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請アリ
タルトキハ前ノ組合原簿中相當部分ノ變更欄
ニ其記載ヲ爲スヘシ

第三十七條 無限責任組合員又ハ保證責任組
合員ノ脱退ニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請
アリタルトキハ組合原簿中相當部分ノ變更欄
ニ其記載ヲ爲シ脱退シタル組合員ノ氏名ヲ朱
抹スヘシ

第三十八條 産業組合法第十五條ノ二第一項及
ヒ第二項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ無限責任
組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ表紙ノ裏面
ニ行政區畫、大字若クハ字又ハ其名稱ノ變更
アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ノ
裏面ニ記載シタル行政區畫、大字若クハ字又
ハ其名稱ヲ變更スヘシ

欄ニ、通知ヲ爲シタル組合ノ名稱ハ申請人ノ
氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第三十條 組合カ其事務所ヲ移轉シタル場合ニ
於テ産業組合法第十六條ノ規定ニ依リ同法第
十四條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ
又ハ同法第六十六條ノ規定ニ依リ設立ノ登記
ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由
ヲ記載スヘシ

第三十一條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢
止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ登記
用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ主タル事務所
又ハ他ノ主タル事務所ニ非サル事務所アル場
合ニハ之ヲ適用セス

第三十二條 組合ノ理事又ハ監事カ任期滿了ノ
後再選セラレタルニ因リ變更登記ノ申請アリ
タルトキハ新ニ選任セラレタルト同一ノ登記
及ヒ公告ヲ爲スヘシ

第三十三條 産業組合法第十五條ノ二第三項ノ
場合ニ於テハ登記簿ニ變更ノ登記ヲ爲シタル
トキト雖モ其公告ヲ爲スコトヲ要セス

第三十四條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ

第三十九條 前條ノ規定ニ依リテ大字若クハ字

又ハ其名稱ヲ變更シタルトキハ産業組合法第
十五條ノ二第三項ノ規定ニ依ル組合原簿ノ記
載ノ變更ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組
合原簿ノ甲部用紙中變更欄カ記載ヲ爲スヘキ餘
白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其組合原
簿ニ甲部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ變更欄ニ變
更ノ記載ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙及ヒ繼續
用紙中適當ノ場所ニ便宜ノ方法ヲ以テ交互參
看ノ符號ヲ附記スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ
記載スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ記載ヲ爲ス
ヘシ

前三項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル
場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組
合原簿ノ乙部用紙中或組合員ノ變更欄カ記載
ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官
吏ハ其組合原簿ニ乙部ノミノ繼續用紙ヲ編綴
シ之ニ其組合員ノ氏名、住所等ヲ移シタル上

變更欄ニ變更ノ記載ヲ爲スヘシ

前條第二項及ヒ第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第四十條ノ規定ハ有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 産業組合法第七十九條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本、同條第二項ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十四條 産業組合法第八十條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十五條 登記官吏カ産業組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ産業組合登記受附帳ニ記入スヘシ

第四十六條 産業組合聯合會ノ登記及ヒ産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外産業組合ノ登記及ヒ産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條 第十八條乃至第二十條、第二十八條乃至第三十三條及ヒ第四十五條ノ規定ハ産

業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十八條 不動産登記法施行細則第四條、第

五條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第

第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第

第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十

七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第六

條、第七條、第九條、第十條乃至第二十條、第二

十三條乃至第三十三條、第四十四條、第四十六

條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及ヒ産

業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス（改正大正

二年五月省令第二十二號）

附則

第四十九條 本令ハ明治四十二年法律第二十七

號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條 明治三十三年司法省令第二十九號産

業組合登記取扱手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ

廢止ス

第五十一條 本令施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタ

ル組合カ産業組合法第十五條第一項第一號及

ヒ第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ

因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合

ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原簿ヲ差出

スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資ノ總口數及ヒ拂込ミタル出資ノ總額ヲ記載スヘシ

第五十二條 本令施行前ニ登記シタル事項ノ變

更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲ス

ヘシ

第五十三條 本令施行前ニ調製シタル産業組合

登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否ト

チ問ハス當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ得

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

紙數表紙ヲ除キ
地方裁判所長
枚

附錄第一號
産業組合登記簿
區裁判所

號						第	登記簿			
二十	一十	十	九	六	五	四	三	二	一	登記簿
住氏人清	月日	解散ノ事	存立ノ事	設立ノ事	設立ノ事	目的	事務所	組織	名稱	登記簿
所名ノ算	年	事由	事由	年月日	年月日					明治年月日登記
明治年月日登記	明治年月日登記									
備				豫		八		七		
						所名ノ理		法ノ拂出		
						住氏事		方込資		
						丁				

附錄第二號

產業組合中央會登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

更	變	丁	更	變
更	變		更	變

更	變	丁	更	變
更	變		更	變

號		第		登記簿	
六	五	四	三	二	一
總 資 額 ノ	設 立 ノ 年 月 日	事 業 ノ 類 ノ	日 的	事 務 所 稱	登 記 ノ 年 月 日 ヨリ 第 一 欄 明 治 年 月 日 登 記
八			七		
所 名 ノ 監 事 住 氏			所 名 ノ 理 事 住 氏		

備	豫
一	十
住 氏 ノ 所 名	清 算 ノ 日 年
門 治 年 月 日 登 記	門 治 年 月 日 登 記
備	
豫	

附錄第三號

產業組合登記見出帳

區裁判所

部 /					部 /				
				產業組合ノ 名稱					產業組合ノ 名稱
				登記簿ノ 冊數					登記簿ノ 冊數
				登記簿ノ 丁數					登記簿ノ 丁數
				登記番號					登記番號
				備考					備考

八百十

附錄第四號

產業組合登記受附帳

區裁判所

				受附ノ 年月日					受附ノ 年月日
				受附 番號					受附 番號
				登記ノ目的					登記ノ目的
				申請人ノ氏名					申請人ノ氏名
				備考					備考

八百十一

附錄第五號

有限責任何々組合ノ名稱組合原簿

理事
監事

更	變	更	變	出資 ノ總 口數	稱名
更	變	更	變	拂込 ルミ 總額 ノ出資	
		丁			

附錄第六號

無限責任何々組合ノ名稱組合原簿

理事
監事

更	變	更	變	出資 ノ總 口數	稱名
更	變	更	變	拂込 ルミ 總額 ノ出資	
		丁			

甲部

更 變		丁	更 變		稱名
更 變			更 變		
更 變			更 變		出資 總額
					拂込 出資 總額

甲部

更 變		丁	更 變	
更 變			更 變	
更 變			更 變	

乙部

更 變		丁	更 變	
更 變			更 變	
更 變			更 變	

乙部

附錄第七號
 保證責任何々組合ノ組合原簿
 理事
 監事

●産業組合登記事務

取扱所ノ件

(明治三十三年司法省第二十四號)
産業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

●産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件

(勅令第二百十三號)

- 第一條 産業組合中央會ヲ設立セムトスル者ハ申請書ニ定款ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ受クヘシ
- 第二條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ期限ヲ定メテ會員ヲ募集シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集シ定款ヲ議定スヘシ
- 前項定款ノ議定ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス
- 第三條 創立總會ノ議決權ハ書面又ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席

者ト看做ス

第四條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ申請書ニ定款及創立總會ノ議決録ノ謄本ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ設立ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 設立ノ許可アリタルトキハ發起人ハ其ノ事務ヲ理事ニ引繼クヘシ

第六條 産業組合中央會ハ産業組合法第八十二條第三項ニ依リ其ノ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ同法第一條第一項第三號及第四號ノ事業ヲ行フコトヲ得但シ加工ニ關スル事業ニ付テハ此限ニ在ラス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
四十二年法律第二十七號産業組合法中改正ノ件ニシテ同年九月一日ヨリ施行ス

●森林組合登記之部

●森林法

(明治四十年法律第四十三號)

第一章 總則

- 第一條 森林ハ其ノ所有者ニ依リ之ヲ分チテ御料林、國有林、公有林、社寺有林及私有林トス
- 前項ノ種別ニ依リ難キ森林ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用ス
- 第二條 森林ノ立木竹ヲ所有スル爲地上權、賃借權其ノ他土地ニ關シ使用又ハ收益ヲ爲ス權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ權利者ヲ以テ本法ニ依ル森林所有者ト看做ス
- 前項ノ權利ニ簡以上同一ノ土地ノ上ニ存在スル場合ニ於テハ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ前項ノ森林所有者トス
- 第三條 本法ニ於テ開墾ト稱スルハ地租條例ニ規定スルモノノ外燒畑、切替畑其ノ他土地ノ形質ヲ變更スル行爲ヲ謂フ
- 第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル森林所有者、森林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占有者ノ權利義務ハ森林若ハ森林立木竹又ハ土地ノ所有者若ハ占有權ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス
- 第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規

定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ森林所有者、森林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占有者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第六條 民法第二百五十六條ノ規定ハ共有ノ森林ニ之ヲ適用セス但各共有者持分ノ價格ニ從ヒ其ノ過半數ヲ以テ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七條 公園、社寺境内及命令ヲ以テ定ムル土地ニ付テハ本法ヲ適用セス但シ命令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ書類ヲ送付スヘキ場合ニ於テ送付チ爲スコト能ハサルトキハ官報又ハ行政廳慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ公示シ其ノ公示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ送付アリタルモノト看做ス

第二章 營林ノ監督

第九條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代表者ヲシテ森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付施業案又ハ施業要領ヲ定メ其認可ヲ受ケシムルコトヲ得

ノ施業案又ハ施業要領ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニシテ荒廢ノ虞アルトキハ地方長官ニ於テ施業ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

前項指定ノ方法ニ違反シ伐木ヲ爲シタル者ニハ地方長官其ノ伐採ヲ停止シ伐木跡地ニ造林ヲ命スルコトヲ得

第二十五條 第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 前條第二項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者造林ヲ怠リタルトキハ行政官廳ニ於テ自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項造林ニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十二條 本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限り三十年以内地租ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得

第十三條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニ付地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ箇所及期間ヲ指定シ落葉、落枝、柴草、土石、樹根、草根、切芝ノ採取又ハ採掘ニ關スル制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三章 保安林

第十四條 主務大臣ハ左ニ掲クル場合ニ於テ森林ヲ保安林ニ編入スルコトヲ得

- 一 土砂ノ墮崩、流出ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 二 飛砂ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 三 水害、風害、潮害ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 四 積雪又ハ墜石ニ因ル危險ノ防止ノ爲必要ナルトキ
- 五 水源涵養ノ爲必要ナルトキ
- 六 魚附ノ爲必要ナルトキ
- 七 航行ノ目標ノ爲必要ナルトキ
- 八 公衆ノ衛生ノ爲必要ナルトキ
- 九 社寺、名所又ハ舊跡ノ風致ノ爲必要ナルトキ

第十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキ又ハ保安林トシテ存置スルノ必要ナシト認ムルトキハ保安林ヲ解除スルコトヲ得

第十六條 保安林ノ編入解除ハ其ノ森林所在ノ府縣市町村又ハ之ニ準スヘキ者其ノ他直接利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ地方長官ヲ經由シ主務大臣ニ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ニ係ル森林ニ付不編入又ハ不解除ノ處分アリタルトキハ實地ノ狀況ニ著シキ變更ヲ生シタル場合ニ非サレハ同一理由ニ依リ再ヒ之ヲ申請スルコトヲ得

第十七條 保安林ノ編入解除ノ申請アリタル場合ニ於テ前條第一項ノ條件ヲ具備セス又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シタルモノト認ムルトキハ地方長官ハ申請書ヲ却下スルコトヲ得

前項ノ處分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十八條 保安林ノ編入解除ヲ爲サムトスルトキ又ハ地方長官其ノ申請ヲ受理シタルトキハ地方長官ニ於テ其ノ旨ヲ森林所有者、土地所有者其ノ他土地ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ニ通知シ且慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ

森林所在ノ市町村役場ニ之ヲ揭示スヘシ

地方長官ハ前項告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタル後保安林ノ編入解除ヲ地方森林會ノ議ニ付スヘシ

第十九條 地方森林會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 第十八條ノ告示ニシテ保安林編入ニ關スルモノナルトキハ其ノ告示ノ日ヨリ第二十三條ノ告示ノ日迄其ノ森林ニ於テ木竹ノ伐採、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ第十八條ノ告示ノ日ヨリ二十五日以内ニ意見書ヲ地方長官ニ提出スルコトヲ得

第二十二條 地方長官ハ保安林ノ編入解除ニ關スル地方森林會ノ決議書其ノ他ノ關係書類ニ意見書ヲ添ヘ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ但シ

第三十七條 第二ノ規定ニ依リ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 主務大臣ニ於テ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ之

チ告示シ地方長官チシテ其ノ森林所有者ニ其ノ旨ヲ通知シ且所在ノ市町村役場ニ揭示セシムヘシ

地方長官ニ於テ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ前項ノ手續ヲ爲スヘシ（追加四十四年法律第七十五號）

第二十四條 保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係チ有スル者其ノ編入解除ニ關スル處分ニ不服アルトキハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ前條告示ノ日ヨリ六十日以内ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 地方長官ニ於テ保安林ノ編入ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ森林ニ於ケル木竹ノ伐採ヲ停止スルコトヲ得但シ其ノ停止期間ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ニ依リ木竹ノ伐採ヲ停止セラレタル森林ト雖保育ノ爲必要ナルトキ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ之ヲ伐採スルコトヲ得

第二十六條 保安林ニ於テハ地方長官ノ許可ヲ

得ルニ非サレハ木竹ノ伐採、傷害、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲シ又ハ家畜ヲ放牧スルコトヲ得ス

第二十七條 主務大臣ハ保安林ノ所有者ニ對シ前條ノ外其ノ使用收益ヲ制限若ハ禁止シ又ハ施業若ハ保護ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

第二十八條 木竹ノ伐採ヲ禁止セラレタル保安林ノ所有者又ハ立木竹ノ所有者ハ之ニ因リテ生シタル直接ノ損害ニ限り其ノ補償ヲ求ムルコトヲ得

前項保安林ノ所有者カ前條ノ指定ニ依リ造林ヲ爲シタルトキハ其ノ造林ノ費用ハ前項ノ損害ト看做ス

前二項ノ損害ハ政府之ヲ補償ス但シ政府ハ保安林編入ニ因リ特ニ利益ヲ受ケル公共團體若ハ私人チシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシメ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第一項及第二項ノ損害ノ算定方法及其ノ補償請求期間ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 前條第三項ニ依ル政府ノ補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴ス

ルコトヲ得

前條第三項但書ニ依ル負擔ニ付不服アル者ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ第二十八條第一項ニ依リ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第三十一條 國有地ノ上ニ存在スル森林ニシテ保安林ニ編入セラレタルトキハ政府ハ其ノ借地料ヲ免ス

第三十二條 主務大臣國土保安上必要アリト認ムルトキハ保安林以外ノ森林ニ付區域又ハ箇所ヲ定メテ開墾ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第三十三條 第二十六條ノ規定ニ違反シ、第二十七條又ハ前條ノ制限、禁止若ハ指定ニ違反シタル者アルトキハ地方長官ハ造林其ノ他復舊ニ必要ナル行爲ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 第十一條ノ規定ハ前條ニ依リ造林ノ命令ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條 保安林ノ編入解除ニ關スル調査及國土保安ニ關シ地方長官ノ行フ調査ニ要スル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ北海道ニ於テハ北

海運地方費、沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第三十六條 主務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原野、山岳其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第三十七條 第十八條第二項、第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ御料林及國有林ニ之ヲ適用セス

第三十七條ノ二 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得（追加四十四年法律第七十五號）

第四章 土地ノ使用及收用

第三十八條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第四十條第二項ニ依ル通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利チ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利チ承繼シタル者ニ謂フ

第三十九條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ナ總稱ス

第四十條 森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬スル爲又ハ

運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ノ使用ニ係ルトキハ當該官廳ハ之ヲ地方長官ニ協議スヘシ
地方長官ハ前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ協議調ヒタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第一項ニ依リ土地ヲ使用セムトスル者ハ前項通知ノ後其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議スヘシ

第四十一條 前條第二項ノ通知後一箇年以内ニ同條第三項ノ協議ヲ爲ササルトキハ同條第一項ノ許可及協議ハ其ノ效力ヲ失フ第五十五條第一項ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求メサルトキ亦同シ

第四十二條 土地ノ使用三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十三條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十五條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十六條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十七條 第四十條第二項ノ通知後土地ノ形質ヲ變更シ、工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條 第四十條第二項ノ通知後同條第一項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十九條 土地所有者及關係人ハ土地ノ使用若ハ收用者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得但シ土地ノ使用者若ハ收

用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 第五十五條第一項ノ裁決アリタルトキハ土地ノ使用者又ハ收用者ハ其ノ裁決ニ依リ補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ用

ウルコトヲ得但シ土地ノ使用者又ハ收用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ補償金ノ供託及擔保ノ提供ヲ要セス

第五十一條 前數條ニ依ル補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得

第五十二條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ收用者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

第五十三條 土地ノ使用者其ノ使用ヲ終リタルトキハ土地ヲ原形ニ復シ又ハ原形ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ

之ヲ返還スヘシ

第五十四條 第三十條ノ規定ハ本章ノ補償金ニ之ヲ準用ス

第五十五條 土地ノ使用者ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ第四十條第二項ノ通知後一箇年以内ニ地方森林會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ關スルモノニ付不服アル者ハ主務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ關スルモノニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 土地收用法第六十四條、第六十六條及第六十七條ノ規定ハ本章ニ依リ使用又ハ收用セラレタル土地ニ之ヲ準用ス（改正四十四年法律第七十五號）

第五十七條 土地ノ使用、收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ使用又ハ收用ニ之ヲ準用ス

第五十八條 森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬スル爲メハ運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ水流ニ於ケル他人ノ工作物ヲ使用シ、變更シ又ハ除却スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府力之ヲ行フトキハ地方長官ニ協議スヘシ

前項工作物ノ使用、變更又ハ除却ニ因リテ損害ヲ生スヘキトキハ補償金ノ拂渡ヲ爲スヘシ
第四十條第二項第三項、第四十一條、第四十六條乃至第五十一條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十九條 流木竹ノ爲必要アル場合ニ於テハ沿岸ノ土地ニ立入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テ損害アリタルトキハ賠償ヲ爲スヘシ

第六十條 前數條ノ外流木竹ニ付土地又ハ水ノ使用ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第六十一條 森林又ハ森林ノ事業ニ關シ實地調査ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ

他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ニ於テハ地方長官ニ通知シテ之ヲ行フトコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ損害アリタルトキハ賠償ヲ爲スヘシ

第五章 森林組合

第六十二條 森林組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ必要ナル事業ヲ爲ス爲一部ノ地區ヲ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

一 國土保安ノ爲又ハ森林ノ荒廢ヲ防止シ若ハ荒廢セル森林ヲ回復スル爲必要ナルトキ

二 森林カ所有者ヲ異ニシ協同シテ施業ヲ爲スニ非サレハ其ノ利用ノ目的ヲ達スルニ困難ナルトキ

三 森林產物ノ運搬ニ必要ナル工事ヲ爲シ又ハ之ヲ維持スル爲關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

四 森林ノ危害防止ニ付關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

第六十三條 森林組合ハ營利ヲ目的トセサル社

團法人トス

第六十四條 森林組合ヲ設立スルニハ定款ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第六十五條 森林組合ノ組合員ハ其ノ地區内ニ於ケル森林ノ所有者ニ限ル

第六十六條 森林組合ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 組合員タル資格ナ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト

二 前號同意者ノ所有スル森林ノ面積カ地區内ニ於ケル森林ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

第六十七條 森林組合成立シタルトキハ組合員タル資格ナ有スル者ハ總テ組合員トス但シ命令又ハ定款ニ於テ加入ノ義務ナシト定メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 目的及事業
- 二 地區
- 三 名稱
- 四 事務所

五 出資又ハ費用分擔ノ方法

六 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其時期又ハ事由

前項ノ外定款ニ定ムルコトヲ要スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十九條 森林組合ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十條 組合員ハ組合ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ新ニ地區内ノ森林又ハ森林產物ニ付組合ノ事業ヲ妨クヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第七十一條 森林組合ハ主務大臣及地方長官之ヲ監督ス

監督官廳ハ何時ニテモ組合ノ事業ニ關スル報告ヲ徴シ、事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 總會ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ法令、監督官廳ノ命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ

ハ監督官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 決議ノ取消
- 二 役員ノ解職
- 三 組合ノ解散

第七十三條 森林組合ニ於テ本章又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ役員ナニ圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 造林ノ用ニ供スル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

第七十五條 本法ニ規定スルモノノ外森林組合ノ設立、管理、解散、清算其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 森林警察

第七十六條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ左ノ命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ定メ所轄警察官署ニ届出テシメ森林產物ノ搬出前之ヲ使用セシムルコト
- 二 前號ニ依リ届出テタル記號印章ト同一又

ハ類似ノ記號者ハ印章ノ使用ヲ禁止スルコト

三 前二號ノ規定ニ違反シタル者ニ對シ森林產物ノ運搬ヲ停止スルコト

四 森林產物ニ關スル營業者ヲシテ帳簿ヲ設ケ其ノ產物ノ出所、種類、數量及仕向先ヲ記載セシムルコト

五 前各號ノ外森林ノ危害防止ニ關スルコト

第七十七條 森林官吏、警察官吏又ハ犯罪捜査ニ付職權ヲ有スル官吏、公吏其ノ職務ヲ行フ爲必要アリト認ムルトキハ森林產物又ハ森林產物ニ關スル營業者ノ手帳、帳簿及器具ニ付檢査ヲ行フコトヲ得

第七十八條 森林、原野、山岳又ハ荒蕪地ニ於テハ地方長官ニ於テ必要ト認メ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタル場合ヲ除クノ外火入ヲ爲スコトヲ得ス(改正四十四年法律第七十五條)

前項指定ノ場合ニ於テ火入ヲ爲サムトスルトキ又ハ前項以外ノ土地ニシテ森林ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲サムトスルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受クヘシ

第七十九條 前條ノ火入ヲ爲サムトスルトキハ

豫メ防火ノ設備ヲ爲シ且接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十條 森林害蟲發生シ又ハ發生ノ虞アルトキハ其ノ害蟲發生シ又ハ發生ノ虞アル森林ノ所有者之ヲ驅除豫防スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ森林所有者ハ警察官署ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り森林害蟲ノ驅除豫防ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 森林害蟲蔓延シ又ハ蔓延ノ虞アル場合ニ於テ地方長官ハ森林害蟲ノ驅除又ハ豫防ノ爲必要ナル處置ヲ利害關係アル森林ノ所有者ニ命シ又ハ自ラ之ヲ行フコトヲ得蟲類以外ノ動物又ハ黴菌ヲ驅除豫防スルニ付主務大臣ノ認可ヲ得タル場合亦同シ

前項驅除豫防ノ費用ハ其ノ利害關係アル土地ノ面積又ハ地價ヲ準率ト爲シ森林所有者ノ負擔トス但シ地方長官自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ヲ除クノ外費用ノ負擔者ニ於テ別段ノ定

チ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

地方長官第一項ニ依リ自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ニ於ケル費用ノ徵收ニ付テハ行政執行法第六條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條 害蟲驅除豫防法第七條及第八條ノ規定ハ前二條ニ依リ驅除豫防ニ之ヲ準用ス

第七章 罰則

第八十三條 森林ニ於テ其ノ產物ヲ竊取シタル者ハ森林竊盜トシ三年以下ノ重禁錮又ハ贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス其ノ產物ニシテ人工ヲ加ヘタルモノニ係ルトキ亦同シ

第八十四條 森林竊盜ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス

- 一 根株ヲ掘採、毀壞、燒燬若ハ隱蔽シ其ノ他罪跡ノ湮滅ヲ圖ルノ行爲アリタルトキ
- 二 贓物ヲ原料トシテ木炭、樟腦、椎茸、松根油其ノ他ノ物品ヲ製シタルトキ
- 三 贓物ヲ燃料トシテ鑛物ノ採取、精製若ハ石炭、煉瓦石、瓦其ノ他ノ物品製造ニ使用シタルトキ
- 四 贓物ヲ運搬スル爲馬、牛、船舶、車輛若ハ橈ヲ使用シ又ハ運搬、造材ノ設備ヲ爲シタルトキ
- 五 保安林ニ於テ犯シタルトキ

六 森林産物採取ノ権利ヲ行使スルニ際シ犯シタルトキ
 七 二人以上共同シ又ハ他人ヲ雇使シテ犯シタルトキ
 八 森林保護ノ義務ヲ有スル者犯シタルトキ
 九 差押ノ贓物ヲ隠匿、消費、滅却又ハ放棄シタルトキ
 十 夜間犯シタルトキ
第八十五條 前條第二號ニ依リ製シタル物品ハ之ヲ森林竊盜ノ贓物ト看做ス
第八十六條 民法第九十六條ノ規定ハ森林竊盜ノ贓物ノ回復ニ之ヲ適用セス但シ善意ノ取得者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第八十七條 森林竊盜ノ贓物ナルコトヲ知リテ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若ハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮及贖額以上贖額ニ倍以下ノ罰金ニ處ス
第八十八條 第八十三條、第八十四條及前條ノ贖額ノ二倍カ二圓ニ滿タサルトキト雖其ノ罰金ハ二圓以下ニ下スコトヲ得ス
第八十九條 他人ノ森林ニ放火シタル者ハ輕懲役ニ處ス因テ主産物ヲ燒燬シタル者ハ重懲役

ニ處ス
 自己ノ森林ニ放火シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ノ主産物ヲ燒燬シタル者ハ五年以下ノ重禁錮ニ處ス
第九十條 第八十三條、第八十四條及前條第二項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス
第九十一條 森林ノ爲設ケタル標識ヲ移轉、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第四百二十條ノ適用ヲ妨ケス
第九十二條 立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル他人ノ記號印章ヲ變更又ハ消除シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十三條 他人ノ森林内ニ工作物ヲ設ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
 他人ノ森林ヲ開墾シタル者亦同シ
 前項ノ犯罪ニシテ保安林、開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ六月以下ノ重禁錮及二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十四條 他人ノ森林内ニ於テ放牧シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 第十三條ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十六條 第二十條ニ違反シ又ハ第二十五條第一項ノ停止ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十七條 第二十六條ニ違反シ又ハ第三十二條ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十八條 第二十七條ノ制限、禁止又ハ指定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第九十九條 前三條ノ場合ニ於テ木竹ヲ伐採又ハ傷害シタル者ニ對スル罰金ハ其ノ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ニ達セシムルコトヲ得
第一百條 第七十六條第二號又ハ第三號ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第一百一條 第七十七條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル
第一百二條 第七十八條又ハ第七十九條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人

ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林内ニ於テ焚火ヲ爲シタル者亦同シ
第一百三條 第七十六條第一號、第四號若ハ第五號又ハ第八十一條第一項ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
第一百四條 第三十六條ニ依ル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス
第八章 附則
第一百五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(四十年勅令第三百四十六號ヲ以テ四十一年一月一日ヨリ施行ス)
第一百六條 北海道、沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ付テハ本法中保安林ニ關スル規定ニ限リ之ヲ施行ス
 前項ノ外本法ノ規定ヲ施行スルノ必要アルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 前二項ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ケルコトヲ得
第一百七條 本法施行前森林タリシモノニシテ本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタルモノハ地方長官ニ於テ造林ヲ命スルコトヲ得
 八百二十九

前項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者カ造林ヲ怠リタル場合ニ付テハ第十一條ノ規定ヲ準用ス

第八條 舊法第三十條ニ依リ保安林ト爲シタルモノニシテ本法施行ノ際現ニ保安林タルモノハ之ヲ保安林トス

第九條 公有林又ハ社寺有林ニ付テ本法施行前地方長官ノ認可ヲ受ケ又ハ地方長官ニ届出テタル施業案又ハ施業要領ハ第九條ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十條 舊法又ハ舊法ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、議決、申請、請求、手續其ノ他ノ行爲ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 舊法ニ依リ本法施行前ニ進行ヲ始メタル期間カ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ舊法ノ規定ニ從フ但シ其ノ殘期カ本法施行ノ日ヨリ起算シ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ本法ノ規定ヲ適用ス

第十二條 舊法第二十六條ニ依リ補償ノ請求ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過スルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

森林組合法令

(明治四十年十二月勅令 第三百四十八號)

第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ森林法第五章ニ依リ設立スル森林組合ヲ謂フ

第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ森林組合ナル文字ヲ用ヅヘシ

第三條 組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 組合ノ定款ニハ森林法及本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 役員ニ關スル規定
- 二 會議ニ關スル規定
- 三 組合員ノ議決權ニ關スル規定
- 四 財産ノ管理又ハ處分ノ方法ヲ定メタルキハ其ノ方法
- 五 組合員ノ義務ニ違反セル場合ニ於ケル違約金ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ其ノ規定

第八條 前二條ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ許可書又ハ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第九條 森林法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ組合員タル森林所有者ニ於テ又ハ之ニ對シテ爲スヘキ手續其ノ他ノ行爲ニシテ其ノ組合ノ事業ニ關スルモノニ付テハ其ノ組合ハ組合員ヲ代表ス

第十條 森林所有者ノ承繼人ハ其ノ承繼シタル權利ノ限度ニ於テ被承繼人カ組合員トシテ有スル權利義務ヲ承繼ス

前項ノ規定ハ新ニ森林法第二條ニ依リ森林所有者ト爲リタル者又ハ其ノ權利消滅ニ因リテ森林所有者タルモノニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テハ組合ニ通知ヲ爲スニ非サレハ權利義務ノ承繼ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第七條 民法第四十五條第三項及第四十八條ノ規定ハ之ヲ組合ニ準用ス但シ同規定中一週間ノ期間ハ之ヲ二週間トス

第六條 組合設立ノ登記ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第四條 總會ニハ總組合員ノ三分ノ二以上ニシテ總議決權ノ三分ノ二以上ニ當ル組合員ノ出席アルコトヲ要ス

第三條 理事及監事ノ氏名、住所

第二條 設立許可ノ年月日

第一條 森林法第六十八條第一項ニ掲グル事項

登記スヘキ事項左ノ如シ

外ノ土地ト爲シタルトキ又ハ地區内ニ於ケル森林以外ノ土地ヲ新ニ森林ト爲シタルトキハ組合ニ之ヲ通知スヘシ

第十二條 組合員カ地區内ノ森林ヲ森林以外ノ土地ト爲シタルトキニ於テ組合ト該組合員トノ間ノ計算ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
地區ヲ減少セル場合ニ於テ其ノ減少セル區域内ノ森林ノ屬スル組合員ト組合トノ間ノ計算ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十三條 組合ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備置クヘシ

組合ハ組合員名簿、財産目録、事業報告書及決算書ヲ主タル事務所ニ備置クヘシ
事業ノ計劃書、設計書、貸借對照表、事業成績書又ハ損益分配計算書ヲ作成シタル場合ニ於テハ其ノ書類ニ付亦前項ニ同シ
前三項ノ書類ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

第十四條 組合ハ組合員ヨリ前條ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス組合ノ債權者其ノ他利害關係ヲ有スル者事業計劃書設計書及事業成績書ヲ除クノ外前條ノ書類ノ

閱覽ヲ求メタルトキ亦同シ
第十五條 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 組合員ニ屬スル森林ノ所在、地番及面積
- 三 森林法第二條ニ依ル森林所有者ニ付テハ其ノ權利ノ種類及存續期間
- 四 組合員ノ出資又ハ費用分擔ノ割合
- 五 森林ノ主伐收益ヲ爲ス組合ニ在リテハ組合員ニ對スル收益分配ノ割合

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 經費ノ收支豫算
- 二 起債
- 三 重要ナル權利ノ處分
- 四 事業ノ計劃、設計
- 五 毎事業年度ニ於ケル事業ノ豫定

第十七條 組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ
理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
監事ハ理事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

民法施行法第二十七條ノ規定ハ組合ノ理事及監事ニ之ヲ準用ス

第十八條 理事ノ任期ハ三年以内ニ於テ監事ノ任期ハ一年以内ニ於テ定款ヲ以テ之ヲ定ム但シ任期滿了ノ時ニ於テ再選ヲ妨ケス

第十九條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十條 第五條第二項ノ規定ハ理事及監事ノ選任ノ場合並解任ノ決議ニ之ヲ準用ス

第二十一條 民法第四十四條第一項ノ規定ハ組合ニ、同法第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ組合ノ理事ニ、同法第五十九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第二十二條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキ又ハ其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ監事其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ三月ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員中ヨリ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十三條 組合ハ少クモ毎事業年度一回組

合員ノ通常總會ヲ開クヘシ臨時總會ハ何時ニテモ之ヲ召集スルコトヲ得

通常總會ハ財産目録、事業報告書及決算書ヲ調査ス貸借對照表及事業成績書ヲ作成スル組合ニ在リテハ其ノ書類ニ付亦同シ

前項ノ書類ハ通常總會ノ日ヨリ一週間前監事ニ提出スヘシ

第二十四條 總組合員ノ五分ノ一以上ニシテ總議決權ノ五分ノ一以上ニ當ル組合員カ會議ノ目的タル事項ヲ示シ總會ノ召集ヲ請求シタルトキハ組合ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 民法第六十二條、第六十四條及第六十六條ノ規定ハ組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第二十六條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

各組合員ノ議決權ハ一箇以上トス但シ議決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十七條 組合員ハ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出ス

ヘシ第一項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第二十八條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總會ヲ設クルコトヲ得

各總代ノ議決權ハ其ノ代表セル組合員ノ有スル議決權ノ數ニ依ル

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解散又ハ合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條 組合ノ事業年度ハ一年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 合併

四 破産

五 監督官廳ノ處分

第三十一條 合併及解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ總議決權ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

合併及解散ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クル

ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十二條 組合カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第三十三條 債權者ハ前條第二項ノ期間内ニ合併ニ對シテ異議ヲ述ハサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條 組合カ解散シタルトキハ組合ハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外ニ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ且合併ノ場合ヲ除クノ外ニ地方長官ニ届出ツヘシ

清算中ニ就職シタル清算人アルトキハ組合ハ其ノ就職後二週間内ニ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ニ依リ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十五條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十六條 組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合若ハ債權者ノ請求ニ因リ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘシ

第三十七條 清算人ハ就職後遲滞ナク財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り財産處分ノ方法ヲ定メ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ

第三十八條 清算中ノ組合ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第三十九條 清算事務終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り總會ノ承認ヲ受クヘシ

第四十條 清算中ノ組合ハ清算人就職ノ日ヨリ二月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セララルヘキ旨ヲ附記スヘシ但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

第四十一條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ組合ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 清算中ノ組合ノ財産カ其ノ債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタル

トキハ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其ノ旨ヲ公告スヘシ

清算人カ破産管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任ヲ終リタルモノトス
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第四十三條 組合カ前條第一項、第三十二條第二項及第四十條ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十四條 民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條、第八十二條及第八十三條ノ規定ハ組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第四十五條 民法施行法第二條、第二十五條及非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三百三十六條乃至第三百三十八條ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 左ノ場合ニ於テ組合ハ命令ノ規定ニ違反シタルモノト看做ス
一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第十三條ノ書類ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 監督官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス、其ノ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

四 第三十二條、第四十條又ハ第四十二條ニ依ル公告ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

五 第四十條ノ期間内ニ債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキ

第四十七條 組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四十八條 各登記所ニ森林組合登記簿ヲ備フ

第四十九條 組合設立ノ登記ハ理事、監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ定款及地方長官ノ設立許可書若ハ合併認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第五十條 事務所新設及移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事若ハ其ノ職務ヲ行フ者又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添

第五十三條 第四十九條第一項ノ規定ハ組合ノ合併ニ依ル變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第五十四條 本令ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

第五十五條 非訟事件手續法第四十一條乃至第五百一十一條、第五百四十四條乃至第五百五十七條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則
本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●森林組合登記 取扱手續

(四十一年一月司法省令第一號)

第一條 森林組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 森林組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

假理事カ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十一條 組合解散ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス
前項登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議又ハ合併ニ依リテ解散シタルトキハ地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第五十二條 合併ニ依ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第三十二條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

組合カ監督官廳ノ處分ニ依リテ解散シタルトキハ登記所ハ該官廳ノ囑託ニ依リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

- 一 謄本抄本證明書交付帳
- 二 申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 三 受領證原符元帳
- 四 決定原本綴込帳
- 五 登記簿謄本綴込帳
- 六 登記簿濟證交付帳
- 七 抗告書類綴込帳
- 八 印鑑簿

第四條 前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一个年毎ニ別冊ト爲スヘシ

第五條 組合カ其事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ森林組合令第七條ノ規定ニ依リ同令第六條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

第六條 森林組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

第七條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二第三十六條第三十七條、第三十八條、第三

八百三十八
十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十條、第二十三條乃至第三十二條、第四十六條ノ規定ハ森林組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

地方裁判所長
紙數表紙ヲ除キ
枚

附錄第一號
森林組合登記簿
區裁判所

八五四十一

登記
番號

號

第一號
及七番九號
明治年月日記

九	存立ノ時期又ハ解散ノ事由	八	氏名住所	七	氏名住所	理事ノ	十	原因及 日年月	十一	清算 人ノ 氏名住所 明治年月日記
五	支出費用ノ分	四	設立許可ノ年月日	三	目的及 事業	二	事務所	一	名稱	第一號 明治年月日記
	備	豫		六						
	備				區					地

丁

	變更		變更
	備		備
	丁		丁
	變更		變更

附錄第二號
 森林組合登記見出帳
 區裁判所

更	變	更	變
更	變	更	變
		丁	

部	部	森林組合登記簿、 名稱、冊數	森林組合登記簿、 名稱、冊數
		丁數簿、 登記番號	丁數簿、 登記番號
		備考	備考
			丁

漁業組合登記之部

●漁業法(明治四十三年四月法律第五十八號)

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ヲ謂フ

第二條 公共ノ用ニ供セサル水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス

第三條 公共ノ用ニ供スル水面ト連接シ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セサル水面ニハ本法ヲ適用ス

前項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業ニ關シ之カ利用ヲ制限シ又ハ廢止スルコトヲ得

第四條 漁具ヲ設置シ又ハ水面ヲ區劃シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ其ノ免許スヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

八百四十四

第五條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ前項ノ免許ハ漁業組合カ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタル場合ノ外之ヲ與ヘス

第六條 前二條ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ受ケシムル必要アリト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 漁業權ハ物權ト看做シ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權ニ之ヲ適用セス

第八條 漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ民法第三百七十七條ノ準用ニ關シテハ漁業權ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ト看做ス

第九條 裁判所ノ土地ノ管轄カ不動産所在地ニ依リテ定マル場合ニ於テハ漁場ニ最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃ヲ以テ不動産所在地ト看做ス

第十條 漁業權ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ス地先水面專用ノ漁業權ハ行政官廳ノ認可ヲ受

クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十一條 漁業權者ノ有スル水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ

第十二條 入漁權者ハ設定行爲又ハ舊法施行前ノ慣行ニ從ヒ他人ノ專用漁業權ニ屬スル漁場内ニ入會ヒ其ノ專用漁業權ノ全部又ハ一部ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス

第十三條 入漁權ハ物權ト看做ス

入漁權ハ相續及讓渡ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第十四條 入漁權ハ漁業權者ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

但シ別段ノ慣行アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ其ノ持分ヲ處分スルコトヲ得ス

第十六條 漁業權ノ存續期間ハ二十年内ニ於テ行政官廳ノ定ムル所ニ依ル

但シ第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セス

前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新

八百四十五

スルコトヲ得

第十七條 設定行爲ニ於テ存續期間ニ付別段ノ定ナキ入漁權ハ目的タル漁業權ノ存續中存續スルモノト看做ス但シ入漁權者ハ何時ニテモ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條 入漁權者カ入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ漁業權者ハ其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得

入漁權者カ引續キ二年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リ又ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキハ漁業權者ハ入漁權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 入漁料ハ入漁ヲ爲ササルトキハ之ヲ支拂フコトヲ要セス

第二十條 入漁權ニ關シ前三條ノ規定ニ異リタル慣行アルトキハ其ノ慣行ニ從フ

第二十一條 行政官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ従事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十三條

行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業ヲ爲ササル期間及第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ前條ノ期間ニ之ヲ算入セス

第二十四條

水産動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊繫留、水底電線ノ敷設若ハ國防其ノ他ノ軍事上必要アルトキ又ハ公益上害アルトキハ主務大臣ハ免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得
漁業權者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ漁業ヲ制限シ又ハ停止スルコトヲ得

第二十五條

錯誤ニ依リ漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ行政官廳ハ之ヲ取消スコトヲ得

第二十六條

免許漁業原簿ノ登録ハ登記ニ代ハルモノトス
登録ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條

漁業免許ノ取消アリタルトキハ行政官廳ハ直ニ之ヲ登録シタル抵當權者及先取特權者ニ通知スヘシ
前項ノ權利者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日

八百四十六

以內ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第二十四條第一項又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
漁業權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

第二十八條

漁業權ハ登録シタル權利者ノ同意アルニ非サレハ之ヲ分割、變更又ハ拋棄スルコトヲ得ス

第二十九條

漁業者ハ左ニ掲グル目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用シ又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一 漁場ノ標識ノ建設

二 魚見者ハ漁業ニ關スル信號又ハ之ニ必要ナル設備

三 漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ建設

第三十條

漁業者ハ必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ特別ノ用途ナキ他人ノ土地ニ立入り漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十一條

漁業ニ關スル測量、實地調査又ハ前二條ノ目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り支障木竹ヲ伐採シ又ハ障礙物ヲ除去スルコトヲ得

第三十二條

前三條ノ行爲ヲ爲ス者ハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ所有者又ハ占有者ニ通知シ爲ニ生シタル損害ハ之ヲ賠償スヘシ

第三十三條

行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第三十四條

地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水産動植物ノ採捕ニ關スル制限又ハ禁止

二 水産動植物若ハ其ノ製品ノ販賣又ハ所持ニ關スル制限若ハ禁止

三 漁具又ハ漁船ニ關スル制限若ハ禁止

四 漁業者ノ斂又ハ資格ニ關スル制限

五 水産動植物ニ有害ナル物ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止

制限又ハ禁止

六 水産動植物ノ蕃殖保護ニ必要ナル物ノ採取又ハ除去ニ關スル制限若ハ禁止

主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ命令ニハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ノ沒收竝犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ價額ノ追徴ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 汽船「トロール」漁業又ハ汽船捕鯨業ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ漁業ニ關スル制限又ハ禁止ハ主務大臣之ヲ定ム

第三十六條 爆發物ヲ使用シテ水産動植物ヲ採捕スルコトヲ得ス但シ海獸捕獲ノ爲ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ水面ノ一定區域内ニ於ケル工作物ノ設置ニ付制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ニシテ遼河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者又ハ占有者ニ除害工事を命スルコトヲ得

第三十八條 前條第二項ノ規定ニ依リ除害工事を命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ニ付權利ヲ有スル者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事を命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ

前項ノ補償金額ニ付不服アル者ハ補償金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十九條 公共ノ用ニ供セサル水面ニシテ公共ノ用ニ供スル水面又ハ第三條ノ水面ニ通スルモノニハ命令ヲ以テ第三十四條、第三十六條乃至第三十八條、第五十五條及第五十九條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第四十條 漁業ニ従事スル者ノ雇傭並雇人及遺族ノ扶助ニ關シテハ勅令ヲ以テ規程ヲ設クルコトヲ得

第四十一條 海軍艦艇乗組將校、警察官吏、港務官吏、税關官吏又ハ漁業監督吏員ハ漁業ヲ

業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ス組合員ハ漁業組合ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ組合規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十四條 漁業組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲メ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

漁業組合聯合會ハ法人トス

第四十五條 漁業組合及漁業組合聯合會ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第四十六條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立ハ其ノ主たる事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十七條 行政官廳ハ何時ニテモ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況

監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舗其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ漁業監督吏員以外ノ者ニ之ヲ準用セス

第四十二條 一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ設クルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ市町村ノ區域又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ市町村ニ準スヘキモノヲ以テ前項ノ市町村ト看做ス

北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得

第四十三條 漁業組合ハ法人トス

漁業組合ハ漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ス組合員ハ漁業組合ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル專用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス但シ組合規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十四條 漁業組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲メ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

漁業組合聯合會ハ法人トス

第四十五條 漁業組合及漁業組合聯合會ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十六條 行政官廳ハ何時ニテモ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ事業ニ關スル報告ヲ徵シ事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況

監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舗其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス但シ同法第四條ノ規定ハ漁業監督吏員以外ノ者ニ之ヲ準用セス

第四十二條 一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ設クルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ市町村ノ區域又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ市町村ニ準スヘキモノヲ以テ前項ノ市町村ト看做ス

前二項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百

六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第五十一條 漁業者又ハ水産動物ノ製造若ハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良發達及水産動物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設クルコトヲ得

第五十二條 水産組合成立シタルトキハ其ノ地區内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ニ加入シタルモノト看做ス但シ主務大臣ニ於テ加入ノ義務ヲシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 水産組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲水産組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

第五十四條 水産組合及水産組合聯合會ハ法人トシ重要物産同業組合法ヲ準用ス

第五十五條 漁業ノ免許若ハ許可ノ出願又ハ期間更新ノ申請ニ對スル許否ニ不服アル者及第三條第二項、第二十二條、第二十四條、第二十五條若ハ第三十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起

スルコトヲ得

八百五十

第五十六條 漁場ノ區域、漁業權若ハ入漁權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ争アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ之ニ關スル裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十七條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付前條ノ規定ニ依ル裁決又ハ判決ヲ待ツノ必要アル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 免許ニ依ラス若ハ漁業ノ停止中第四條又ハ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者
 - 二 免許漁業ノ制限又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者
 - 三 専用漁業ノ停止中其ノ漁場ニ於テ停止シタル漁業ヲ爲シタル者
- 前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有

シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第五十九條 汽船「トロール」漁業ニ關シ第三十五條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金、汽船捕鯨業ニ關シ同條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十條 漁業權又ハ漁業組合員ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ侵害シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第六十一條 漁場ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十二條 第四十一條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者及臨檢搜索ノ際當該吏員ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳

述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十三條 營業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第六十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

第六十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（四十三年勅令第四百二十八號ヲ以テ十四年一月一日ヨリ施行ス）

第六十七條 本法ハ臘虎及臘胸獸ノ漁獵ニ之ヲ適用セス

第六十八條 本法施行前ノ漁業ニ關スル出願ニ八百五十一

●漁業組合令

(明治四十三年十一月
勅令第四百二十九號)

第一章 總 則

- 第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ漁業法第四十二條ノ規定ニ依リ設立スル漁業組合ヲ謂ヒ聯合會ト稱スルハ同法第四十四條ノ規定ニ依リ設立スル漁業組合聯合會ヲ謂フ
- 第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ用ウヘシ
聯合會ハ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合會ナル文字ヲ用ウヘシ
組合又ハ聯合會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
- 第三條 組合又ハ聯合會ノ住所ハ其ノ主たる事務所ノ所在地ニ在ルモノトス
- 第四條 本令ニ依リ地方長官ニ屬スル職權ハ郡長、島司、市長、北海道廳支廳長又ハ北海道若ハ沖繩縣ノ區長ニ之ヲ委任スルコトヲ得但シ組合又ハ聯合會設立ノ許可、第二十條第一項第六號、第九號及第十二號ノ事項ニ關ス

シテ未ダ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第六十九條 舊法ニ依リ發生シタル漁業權ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ定メタル效力ヲ有ス但シ其ノ存續期間ハ發生ノ時ヨリ起算ス
本法施行前ニ發生シタル入漁權ニ關シ亦前項ニ同シ

第七十條 本法施行前免許漁業原簿ニ登録シタル事項ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ登録スルコトヲ得ヘキモノニ限り之ニ依リ登録シタルモノト看做ス

第七十一條 舊法施行前ノ契約又ハ慣行ニ依リテ入漁スルノ權利ハ專用漁業免許後一年間ニ限り登録ナキモノヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

七十二條 本法施行前ニ爲シタル處分又ハ第六十八條ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ對スル裁決ノ申請、訴願又ハ行政訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第七十三條 舊法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本法施行後一年間ニ限り登記ナキモノ其ノ設立ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

ル認可並第五十條ノ裁決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 本令ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノハ其ノ許可書又ハ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第二章 設 立

第六條 組合ノ設立ニハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者五人以上ノ發起人アルコトヲ要ス

第七條 發起人ハ左ノ事項ヲ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ニ通知シ組合設立ノ同意ヲ求ムヘシ

- 一 地區タルヘキ區域
- 二 目的及事業ノ概要
- 三 同意表示ノ方法及期間

第八條 組合ノ地區ハ重複スルコトヲ得ス

第九條 發起人ハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得タルトキハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ但シ組合ノ地區タルヘキ區域カ二部落以上ニ亘ルトキハ各部落毎ニ其ノ區域内ニ住所ヲ有ス

ル漁業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集スルコトヲ得

第十條 發起人ハ規約、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及分賦收入方法ノ議案ヲ作り之ヲ創立總會ニ提出スヘシ
組合ノ設立費用及其ノ償却ノ方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第十一條 發起人創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ五日前ニ會議ノ目的、日時及場所並規約案備附ノ場所及閱覽ノ時間ヲ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル各漁業者ニ通知スヘシ

第十二條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所
- 五 組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定

- 七 會議ニ關スル規定
- 八 會計及財産ノ管理ニ關スル規定
- 九 組合ノ取得シ又ハ貸付ヲ受ケタル専用漁業權又ハ入漁權ノ行使ニ關スル規定
- 十 前號ノ權利ノ行使ニ關シ特別ノ利益ヲ受ケル組合員ヨリ料金ヲ納メシムルトキハ之ニ關スル規定
- 十一 共同施設事業ノ執行ニ關スル規定
- 十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第十三條 創立總會ノ決議ハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サルハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ創立總會ニ出席スル他ノ漁業者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ漁業者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第十五條 前項ノ受任者ハ委任狀ヲ發起人ニ差出スヘシ
創立總會終了シタルトキハ發起人ハ組合設立ノ許可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

在地ニ於テハ同期間内ニ前條第二項ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲スヘシ
同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノミノ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 行政區劃、大字又ハ字ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區劃大字又ハ字ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

行政區劃、大字又ハ字ノ變更アリタルトキ亦前項ニ同シ但シ組合ノ地區ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 前條ノ規定ハ地區及事務所所在地ニ關スル規約ノ規定ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ組合ハ規約ノ記載ヲ訂正シ且遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三章 會議

第二十條 本令申別ニ規定アルモノノ外左ニ掲ケル事項ハ組合員總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ第八號ニ掲ケル事項ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

一 經費ノ收支豫算

前項ノ申請書ニハ規約、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及分賦收入方法、第九條ノ同意ヲ證スル書面並創立總會ノ決議録ヲ添附スヘシ
尙漁業法第四十二條第二項但書ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第十六條 組合設立ノ登記ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

- 一 登記スヘキ事項左ノ如シ
- 二 第十二條第一號乃至第四號及第十二號ニ掲ケタル事項
- 三 設立許可ノ年月日
- 四 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十七條 組合設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前條第二項ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲シ他ノ事務所ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ新ニ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スヘシ
組合力其ノ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所

- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 漁業權又ハ不動産ニ關スル物權ノ得喪

變更

- 四 基金ノ支出又ハ其ノ利用方法
 - 五 豫算外ノ支出
 - 六 負債ヲ起スコト
 - 七 組合員ノ除名
 - 八 組合員ニ非サル者ニ對スル漁業權ノ貸付又ハ入漁權ノ設定、得喪若ハ變更
 - 九 規約ノ變更
 - 十 訴訟、訴訟又ハ和解
 - 十一 聯合會ニ加入シ又ハ之ヨリ脫退スルコト
 - 十二 組合ノ解散、合併又ハ分割
- 前項第三號、第六號、第七號、第九號乃至第十二號ニ掲ケタル事項及第三十條第三項但書ノ決議ハ總組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十一條** 組合ノ地區ヲ擴張又ハ縮小スル爲規約ヲ變更セムトスルトキハ其ノ擴張又ハ縮小セムトスル區域内ニ住所ヲ有スル漁業者又

ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第九條第一項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 第二十條第一項第二號、第六號、第九號及第十二號ニ掲ケタル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

前項ノ認可ノ申請書ニハ總會ノ決議録及左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更

ニ付テハ前條ノ同意ヲ證スル書面

二 合併又ハ分割ニ付テハ合併若ハ分割後存

續スル組合又ハ合併若ハ分割ニ因リテ設立ス

ル組合ノ規約及第五十一條第二項、第五十二

條ノ規定ニ依リ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面

第二十三條 第二十條第一項第四號、第五號、第八號及第十號ニ掲ケタル事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十四條 總會ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外理事ヲ招集ス

第二十五條 通常總會ハ每年少クトモ一回之ヲ開クヘシ

理事ハ經費ノ收支決算書、剩餘金ノ處分書、財産目録及事業報告書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

監事ハ豫メ前項ノ書類ニ付之ヲ調査シ其ノ意見ヲ通常總會ニ報告スヘシ

第二項ノ承認ヲ得タルトキハ組合ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十六條 臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ招集ス

一 理事カ必要アリト認ムルトキ

二 總組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三 第三十六條第三項ノ規定ニ依リ監事カ報告ヲ爲スノ必要アルトキ

前項第二號ノ場合ニハ組合ハ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ招集スヘシ

第二十七條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ三日

前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スヘシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 組合員ハ各一個ノ議決權ヲ有ス

第二十九條 總會ノ決議ハ本令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ委任者ハ委任狀ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十條 組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十條第一項第三號、第六號、第七號、第九號及第十二號ニ掲ケタル事項又ハ第七十二條第二項ノ決議ハ總代會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得但シ起債又ハ規約ノ變更ニ付總會ノ委任アリタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 總代會ヲ組織スル總代ノ員數、選任、任期及解任ニ關スル規定ハ規約中ニ設クヘシ

組合員ニ非サル者ハ總代ト爲ルコトヲ得ス

第四章 組合ノ管理

第三十二條 組合ニハ理事及監事ヲ置ク

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立當時ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ組合員タルヘキ者ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

特別ノ事由アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ理事又ハ監事ヲ選任スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ一年トス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十條第二項ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第三十五條 民法第五十二條第二項、第五十三

條及第五十四條ノ規定ハ組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十六條 監事ハ組合ノ財産及事務執行ノ狀況ヲ監査ス

監事組合財産ノ狀況又ハ事務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會及地方長官ニ報告スヘシ
監事ハ前項ノ報告ヲ爲スノ必要アルトキハ總會ヲ召集スルコトヲ得

第三十七條 監事ハ理事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十八條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ス
理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第三十九條 組合ハ理事其ノ他ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第四十條 組合ハ規約及總會ノ決議録ヲ各事務

所ニ備置キ且組合員名簿、經費ノ收支豫算書、經費ノ收支決算書、財産目錄及事業報告書ヲ主タル事務所ニ備置クヘシ
組合ハ組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十一條 組合ハ理事又ハ監事ニ關スル登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五章 組合ノ會計

第四十二條 組合ノ事業年度ハ一年トシ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ曆年ニ依ラサルコトヲ得

第四十三條 組合ハ經費ノ收支豫算ヲ議決シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第四十四條 組合ハ毎事業年度ノ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ基金トシテ積立ツヘシ
基金ハ天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合又ハ著シク組合員共同ノ利益ヲ増進スル爲必要ナル場合ヲ除クノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

第六章 組合員ノ加入及脱退

第四十五條 組合ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者組合ニ加入セムトスルトキハ組合ハ正當ノ理由ナクシテ加入ニ困難ナル條件ヲ附シ又ハ其ノ加入ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ漁業ニ關シ功勞、學識又ハ經驗アル者ヲ名譽組合員ト爲スコトヲ得

第四十七條 組合員ノ死亡ニ因リ家督相續開始シタルトキハ家督相續人ハ相續ノ日ヨリ被相續人ニ代リ組合員ト爲ル但シ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル日ヨリ三月内ニ之ニ異リタル意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得

第四十九條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

- 一 組合員タル資格ノ喪失
- 二 死亡
- 三 除名

第五十條 正當ノ理由ナクシテ組合ノ加入ニ困難ナル條件ヲ附セラレ若ハ加入ヲ拒マレタル漁業者又ハ不當ニ除名セラレタル者ハ六十日內ニ地方長官ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第七章 組合ノ分合

第五十一條 組合カ合併又ハ分割ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ分割ヲ爲ス場合ニ於テハ尙分割後設立スル組合カ承繼スヘキ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第五十二條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ合併又ハ分割ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併又ハ分割ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條 組合カ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併又ハ分割後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第五十四條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因

リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス
分割ニ因リテ設立シタル組合ハ第五十一條ノ規定ニ依リテ定メタル限度ニ於テ従前ノ組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第八章 組合ノ解散及清算

第五十五條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二 組合員カ五人未滿ニ減シタルトキ
- 三 總會ノ決議
- 四 組合ノ合併
- 五 組合ノ分割
- 六 組合ノ破産
- 七 行政官廳ノ處分

第五十六條 組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能

ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合若ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘシ

第五十七條 組合ノ清算ハ組合ノ主タル事務所

所在地ノ區裁判所ノ監督ニ屬ス
裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲シ又ハ特ニ選任シタル者ヲシテ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十八條 組合ハ合併、分割及破産ノ場合ニ

除クノ外解散後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ且合併及分割ノ場合ナ除クノ外之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ行政官廳ノ處分ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ届出並登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要セス
清算中ニ就職シタル清算人アルトキハ組合ハ就職後二週間内ニ清算人ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
前二項ノ規定ニ依リ登記シタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五十九條 組合ノ解散ヲ命シタルトキハ行政

官廳ハ解散ヲ命シタルコト及其ノ年月日ノ登記ヲ命シタルコトヲ得
サルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スヘシ但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス
組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

記ヲ囑託スヘシ
登記所ハ前項ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十條 組合カ解散シタルトキハ合併、分割

及破産ノ場合ナ除クノ外理事其ノ清算人ト爲ル但シ規約ニ別段ノ規定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第六十一條 清算人ハ就職後遅滞ナク組合財産

ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り殘餘財産ノ處分方法ヲ定メ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第六十二條 清算中ノ組合ハ組合ノ債務ヲ辨濟

シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ殘餘財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第六十三條 清算中ノ組合ハ清算人就職ノ日ヨ

リ二月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス
前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲サ

サルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スヘシ但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス
組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

第六十四條 清算中ノ組合ノ財産カ其ノ債務ヲ

完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲シ且其ノ旨ヲ公告スヘシ
清算人ハ破産管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任ヲ終リタルモノトス
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第六十五條 前二條ノ公告ハ裁判所カ爲スヘキ

登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六十六條 民法第七十三條、第七十五條、第

七十六條、第七十八條、第八十條、第八十三條、民法施行法第二條及非訟事件手續法第三十六條乃至第三百三十八條ノ規定ハ組合ノ解散又ハ清算ニ之ヲ準用ス

第九章 聯合會

第六十七條 聯合會ヲ設立セムトスルトキハ各組合ハ創立委員二名ヲ選任スヘシ但シ其ノ一名ハ理事タルコトヲ要ス

第六十八條 創立委員會ニ於テハ規約、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及分賦收入方法其ノ他創立ニ關シ必要ナル事項ヲ議決スヘシ

第六十九條 創立委員會終了シタルトキハ聯合會ヲ組織スル組合ハ聯合會設立ノ許可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第七十條 聯合會ノ總會ハ加入各組合ニ於テ其ノ組合員中ヨリ選任シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス但シ各組合ノ委員中一名ハ理事タルコトヲ要ス

第七十一條 聯合會ニハ理事及監事ヲ置ク聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ加入組合ノ委員ノ員數及任期ニ關スル規定ハ聯合會ノ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七十二條 聯合會ニハ理事及監事ヲ置ク聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ加入組合ノ委員ノ員數及任期ニ關スル規定ハ聯合會ノ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七十三條 加入各組合ハ聯合會ノ債務ニ付前條ノ負擔ヲ限度トシテ保證ノ責ニ任ス

第七十四條 聯合會ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 規約ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 聯合會ノ破産

四 行政官廳ノ處分

第七十五條 第十二條、第十六條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十八條、第二十九條、第三十條、第三十三條乃至第四十四條及第五十六條乃至第六十六條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス

第七十六條 組合又ハ聯合會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第七十七條 各登記所ニ漁業組合登記簿及漁業組合聯合會登記簿ヲ備フ

第七十八條 組合又ハ聯合會設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第七十九條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事若ハ假理事又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但シ組合ノ合併又ハ分割ニ因ル變更ノ登記

八百六十二

組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立當時ノ理事及監事ハ創立委員會ニ於テ之ヲ選任スヘシ

第七十二條 聯合會カ負債ヲ起サムトスルトキハ加入各組合ノ負擔ヲ定メ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七十三條 加入各組合ハ聯合會ノ債務ニ付前條ノ負擔ヲ限度トシテ保證ノ責ニ任ス

第七十四條 聯合會ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 規約ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 聯合會ノ破産

四 行政官廳ノ處分

第七十五條 第十二條、第十六條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十八條、第二十九條、第三十條、第三十三條乃至第四十四條及第五十六條乃至第六十六條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス

第七十六條 組合又ハ聯合會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第七十七條 各登記所ニ漁業組合登記簿及漁業組合聯合會登記簿ヲ備フ

第七十八條 組合又ハ聯合會設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第七十九條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事若ハ假理事又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但シ組合ノ合併又ハ分割ニ因ル變更ノ登記

第八十條 合併又ハ分割ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第八十一條 本令ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ

第八十二條 非訟事件手續法第二百二十二條、第二百四十一條乃至第二百五十一條、第二百五十四條乃至第二百五十七條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ組合又ハ聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十一章 罰則

八百六十三

第八十三條

組合又ハ聯合會ノ行爲ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ其ノ理事、監事、假理事又ハ清算人ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス
一 本令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
二 官廳ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
三 官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス又ハ其ノ檢査ヲ拒ミタルトキ
四 本令ニ依ル届出又ハ報告ヲ怠リタルトキ
五 本令ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ
六 本令ニ依リ事務所ニ備置クヘキ書類ヲ備ヘサルトキ、其ノ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
七 本令ニ依ル基金ノ積立ヲ爲サス又ハ之ヲ不當ニ支出シタルトキ
八 本令ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ
九 本令ニ違反シテ殘餘財産ヲ處分シタルトキ

八百六十四

第六十三條ノ場合ニ於テ一部ノ債權者ヲ利スルノ目的ヲ以テ期間内ニ辨濟ヲ爲シタルトキ
十一 本令ニ依ル催告若ハ公告ヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
附 則
第八十四條 本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第八十五條 舊漁業法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス
第八十六條 前條ノ漁業組合ハ本令施行後一年内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ第十六條第二項ニ掲ケタル事項ヲ登記スヘシ
前項ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ規約、設置認可書並理事及監事ノ選任認可書ヲ添附スヘシ但シ地方長官ノ證明書又ハ認證アル謄本ナ以テ認可書ニ代フルコトヲ得
選任認可書ニ依リ理事及監事ノ氏名ヲ明ニスルコト能ハサルトキハ官廳ノ證明書ヲ以テ其ノ氏名ヲ證スヘシ

第八十七條 舊漁業法ニ依リ設ケタル漁業組合ニシテ清算中ノモノニ付テハ其ノ清算ノ終了ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

漁業組合登記規則

(四十四年三月 司法省令第一號)

第一條 漁業組合登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第二條 漁業組合聯合會登記簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第三條 漁業組合登記見出帳ハ附錄第三號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第四條 漁業組合登記受附帳ハ附錄第四號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ受附番號ハ一個年毎ニ更新スヘシ
第五條 登記所ニハ登記簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
一 謄本抄本證明書交付帳
二 申請書囑託書附屬書類續込帳
三 受領證原符元帳
四 決定原本續込帳

五 登記簿謄本續込帳
六 登記簿續込帳
七 抗告書類續込帳
八 印鑑簿
第六條 前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一個年毎ニ別冊ト爲スヘシ
第七條 登記ノ申請書ニハ登記事項ニ付總會又ハ總代會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ決議録ヲ添附スヘシ
第八條 漁業組合令第三十二條第三項ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ
第九條 裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於ケル登記ノ申請書ニハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ
第十條 理事、監事又ハ清算人ノ氏名住所ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
第十一條 組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ因リ變更登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ漁業組合令第二十一條ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
八百六十五

附スヘシ

第十二條 漁業組合令第五十九條ノ規定ニ依ル登記ノ囑託ニ付テハ登録稅ヲ要セス

第十三條 組合カ其ノ事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ漁業組合令第十七條第二項ノ規定ニ依リ同令第十六條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同令第五十三條ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙申豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第十四條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙申豫備欄ニ之ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ主タル事務所又ハ他ノ主タル事務所ニ非サル事務所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第十五條 組合ノ理事又ハ監事カ任期滿了ノ後再選セラレタルニ因リ變更登記ノ申請アリタルトキハ新ニ選任セラレタルト同一ノ登記及公告ヲ爲スヘシ

第十六條 漁業組合聯合會ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外漁業組合ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス

八百六十六

第十七條 登記官吏カ漁業組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ漁業組合登記受附帳ニ記入スヘシ

第十八條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及商業登記取扱手續第六條、第七條、第九條乃至第二十條、第二十三條乃至第三十二條、第四十四條、第四十六條ノ規定ハ漁業組合及漁業組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ漁業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

漁業組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

備 豫		八	九	十	備 豫									
存立時 解又ハ 解散ノ 事由	解又ハ 解散ノ 事由	原因及 年月日	清算人 姓名	所ノ 住氏	登記 年月日	登記 年月日								
一 名 稱			二 事 務			三 目 的			四 設 立 許 可 年 月 日			五 地 區		
六 理 事 名 氏 住 所			七 監 事 名 氏 住 所			八 備 豫			九 備 豫			十 備 豫		

八百六十七

附錄第二號

漁業組合聯合會登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚

地方裁判所長

更	變	更	變
更	變	更	變

更	變	更	變
更	變	更	變

備 豫		八	九	十	號 第				登記簿				
所名ノ 住氏入	清算 ノ人	年 月 日	原 因 ノ	解 散 ノ	期 ノ	存 立 時	一 名 稱	二 事 務	三 目 的	四 設 立 證 ノ 年 月 日	五 加 入 名 稱 ノ 各	六 理 事 ノ 名 氏 住 所	七 監 事 ノ 名 氏 住 所
明治 年 月 日	登記	明治 年 月 日	登記										
備		豫											

附錄第三號

漁業組合登記見出帳

區裁判所

部 /				部 /			
			漁業組合ノ 名稱				漁業組合ノ 名稱
			登記簿 ノ册數				登記簿 ノ册數
			登記簿 ノ丁數				登記簿 ノ丁數
			登記簿 ノ號				登記簿 ノ號
			備				備
			考				考

八百七十一

更	變		更	變
			更	變
更	變	丁	更	變

更	變		更	變
			更	變
更	變	丁	更	變

八百七十

附錄第四號

漁業組合登記受附帳

區裁判所

受附ノ年月日	受附帳簿登記ノ目的	申請人ノ氏名	備考

雜之部

登記書類ノ保存ニ關スル注意事項

(明治三十五年七月民刑第七二三號通牒)

一 不動産登記法第一百四條第二項、第二百零六條第二項、不動産登記法施行細則第六十二條、第六十三條ノ通知書及ヒ整理地登記ニ關スル通知書、整理地登記規則第七條第三項、第十二條、不動産登記法第二百二十六條第二項ハ不動産登記法施行細則第十四條第二號帳簿ニ合綴シ登記ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス

二 外國領事廳ヨリ引繼テ受ケタル登記簿又ハ其謄本及ヒ其譯文ハ普通登記簿ト同シク永久ニ之ヲ保存スヘキモノトス

永代借地權ノ移轉ニ關スル通知書永代借地權ニ關スル届出ノ通知書永代借地券ノ抹消ニ關スル通知書及ヒ永代借地券ノ謄本ハ不動産登記法施行細則第十四條第二項ノ帳簿ニ合綴シ登記ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス

ノトス

三 船舶登記ニ關スル通知書、船舶登記規則第一百二十六條、船舶登記取扱手續第十一條第二項ノ帳簿ニ合綴シ登記ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス

四 舊地所建物船舶ノ登記ニ關スル共有者連名書及ヒ證書謄本中共有者連名書ニ代用シタル書類ハ共同人名簿ニ準シ永久ニ之ヲ保存スヘキモノトス

五 舊地所建物船舶ノ登記ニ關スル交付帳、證書謄本、登記帳シタル書類ヲ除ク、請求書、登記帳、登記願書、登記帳、證明書、登記帳、名刺、登記後見證書、登記帳、登記帳ニ關スルモノ、船及ヒ代理後見證書、登記帳、登記帳ハ三年間之ヲ保存スヘキモノトス

六 地所建物船舶ノ賣買讓渡ニ關スル舊公證簿及ヒ見出帳又ハ見出帳ニ該當スヘキ帳簿ハ登記簿及ヒ登記見出帳ト同シク永久ニ之ヲ保存スヘキモノトス

- 七 會社ノ破産ニ關スル通知書 非訟事件手續法第百五十二條
外國保險會社ノ免許取消ニ關スル通知書 明治三十八年勅令第三百八十八號
夫婦財產契約ニ關スル登記ヲ爲シタル妻ノ届書 非訟事件手續法第百七十條
及ヒ外國會社ノ支店ノ代表者ノ變更ニ關スル届書 非訟事件手續法第百八十號
二百ハ各其種類ニ從ヒ會社登記取扱手續第八條第四號第七號乃至第十一號ノ帳簿ニ合綴シ登記ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス
- 八 商事登記ニ關スル陳述書其他ノ附屬書類ハ十年間之ヲ保存スヘキモノトス 舊商法ノ規定ニ依ル商業登記ニ關スル帳簿
登記簿及ヒ登記及ヒ書類ハ商業登記取扱手續第九條ノ二ノ區別ニ準シテ之ヲ保存スヘキモノトス
- 九 外國法人ノ代表者ノ變更ニ關スル届書 非訟事件手續法第百二十八條
法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續法第三條第三號ノ帳簿ニ合綴シ登記

- ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス
- 十 外國相互保險會社ノ免許取消ニ關スル通知書 明治三十三年勅令第三百八十八號
及ヒ外國相互保險會社ノ代表者ノ變更ニ關スル届書 明治三十三年勅令第三百八十八號
第二十一條、非訟事ハ相互保險會社登記取扱手續法第百三十三條ノ帳簿ト合綴シ登記ノ申請書ニ準シ十年間之ヲ保存スヘキモノトス
- 十一 保存期間ヲ經過シタル帳簿又ハ書類ヲ廢毀スルトキハ之ヲ細斷スヘキモノトス 司法省令第二十號(明治三十五年七月二十四日)
地所建物船舶質入書入ニ關スル舊公證簿其他之ニ屬スル帳簿及ヒ書類ハ明治三十六年十二月三十一日マテ之ヲ保存スヘシ 司法省訓令第二號(明治三十五年七月二十四日)
特許意匠及商標登記簿并ニ其附屬書類ハ適宜之ヲ廢毀スヘシ

●登記簿記載例

(明治三十一年六月五日)
(司法省民刑第九五四號通牒)

不動産登記簿及商業登記簿

記載例

但同上記載例中土地共同人名簿記載例土地建物登記簿記載例ニ關スル申請事例商業登記簿記載例及ヒ船舶登記簿記載例ハ之ヲ略シ換フルニ或ル地方ニテ實行シツツアル土地建物登記簿記載例ヲ參酌シ其一例ヲ掲グ

表題部(示表地土)

土地登記簿	明治	明治	明治	明治	明治	明治
	受附治	受附治	受附治	受附治	受附治	受附治
	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區
	四丁	四丁	四丁	四丁	四丁	四丁

丁

甲

參	番	貳	壹
明治	明治	明治	明治
受附治	受附治	受附治	受附治
東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區
四丁	四丁	四丁	四丁
明治	明治	明治	明治
受附治	受附治	受附治	受附治
東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區	東京市本所區
四丁	四丁	四丁	四丁

丁				丙 (權役地) 區			
番壹	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	附 番 壹	番壹	番壹
表示欄番ニ於テ登記 第貳號ニ移シタル七拾	年壹割ノ抵當權設定チ 登記ス	額金千圓辨濟期明治 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治	東京市神田區松永町拾 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治	明治附金圓借用證書ニ依リ 東京市神田區松永町拾 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治	受附第參號 明治附金圓借用證書ニ依リ 東京市神田區松永町拾 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治	受附第參號 明治附金圓借用證書ニ依リ 東京市神田區松永町拾 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治	受附第參號 明治附金圓借用證書ニ依リ 東京市神田區松永町拾 四番地玉木豊ノ爲メ債 權額金千圓辨濟期明治
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
番壹	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	附 番 壹	番壹	番壹
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
參	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	番壹	番壹	番壹
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
言渡シタル執行力アル	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月	明治附第拾年六月

乙 (權小ヒ及地上) 區				丙 (權有所) 區			
番壹	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	附 番 壹	番壹	番壹
土地登記簿	明治附第拾號	明治附第拾號	明治附第拾號	明治附第拾號	明治附第拾號	明治附第拾號	明治附第拾號
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
番壹	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	附 番 壹	番壹	番壹
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
參	附 番 壹	附 番 壹	番壹	番壹	番壹	番壹	番壹
明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治	明治
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
事	事	事	事	事	事	事	事
項	項	項	項	項	項	項	項
欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄	欄
登	次	口	月	ト	シ	判	當
記	郎	壹	爲	爲	タ	決	日
ス	ノ	丁	日	日	日	日	日
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵	抵
當	當	當	當	當	當	當	當
權	權	權	權	權	權	權	權
チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ	チ

區 戊 (權借貸)			(先取特種質及抵當權)		
附記 壹番	壹附	壹番	順位 壹番	事項欄	
五坪ト共ニ貸借權ノ目	表示關シタル七拾	借權ヲ登記ス	金貳圓期間七ヶ年ノ貸	設定シタル借賃壹ヶ年	番地大芦儀平ノ爲メニ
				本郷區春木町壹丁目七	上權者藤岡忍カ東京市
				附貸借證書ニ依リ地	明治 年 月 日
				受附第四號	明治 年 月 日
				事項欄	
			順位 壹番	事項欄	
				的タルコトヲ附記ス	明治 年 月 日
				受附第八號	明治 年 月 日
				附貸借契約解除證書	明治 年 月 日
				ニ依リ壹番ノ貸借權設	定ノ登記ノ抹消ヲ登記
				ス	
				事項欄	

區				
	四番	壹附	貳番	壹番
	消ヲ登記ス	附金受取證書ニ依リ	明治 年 月 日	受附第貳拾壹號
	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日
				日受附第拾九號
				日附債權質讓與證書
				ニ依リ東京市京橋區尾
				張町壹丁目八番地會爾
				三郎ノ爲メ債權ト共ニ
				貳番ニ登記シタル質讓
				ヲ取得シタルコトヲ附
				記ス
				事項欄
				事項欄
				事項欄
				事項欄

甲				順位番號
四	番	參	番 貳	壹
明治 受附第 四年 月	明治 受附第 四年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月
登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス
地立古 川義三 ヨリ コト ト	地立古 川義三 ヨリ コト ト	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所

登記番號		壹 第 番		部 題 表		(示表物建)	
		壹		貳			
明治 受附第 四年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月	明治 拾日受 附第參 年 月
登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス	登記 ス
地立古 川義三 ヨリ コト ト	地立古 川義三 ヨリ コト ト	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所	囑托日 附東京 區裁判 所

丁

丙		順位番號
壹	貳	事
明治 受附第壹號 年 月 日 明治 附建物新築工事請負契 約書ニ依リ東京市神田 區西小川町壹丁目五番 地古川義三ノ爲メ工事 費豫算額金壹萬五千圓 ノ先取特權ノ保存ヲ登 記ス但辨濟期ハ新築工 事終了ノ日トス	明治 日受附第肆號 年 月 日 明治 日附東京區裁判所ノ囑 托書ニ依リ壹番ニ登記 シタル先取特權ノ保存 ノ登記ノ抹消ヲ登記ス	欄 欄 欄 欄
		事
		項
		欄
		事
		項
		欄
		事
		項
		欄

(權役地) 區 乙	(權有所) 區	順位番號
		事
		項
		欄
		事
		項
		欄
		事
		項
		欄

建物登記簿

丁

(權借貸) 區 丁		(權 抵 及 質 特 先) 當 七 權 權 取)
	順位番號	
	事 項 欄	
	順位番號	
	事 項 欄	
	順位番號	
	事 項 欄	

八百八十七

區	

建物登記簿

丁

八百八十六

甲		順位番號
壹	貳	事
明治 年 月 日	明治 年 月 日	項
記 年 月 日	明治 年 月 日	欄
明治 年 月 日	明治 年 月 日	事
明治 年 月 日	明治 年 月 日	項
明治 年 月 日	明治 年 月 日	欄
明治 年 月 日	明治 年 月 日	事
明治 年 月 日	明治 年 月 日	項
明治 年 月 日	明治 年 月 日	欄
明治 年 月 日	明治 年 月 日	事
明治 年 月 日	明治 年 月 日	項
明治 年 月 日	明治 年 月 日	欄

登記番號		第三號	
		(示表地土) 部 題 表	
		壹 番	
		表 示	
		欄 欄	
		表 示	
		欄 欄	
		表 示	
		欄 欄	
		表 示	
		欄 欄	

八百八十九

八百八十八

丁

丁		丙 (權役地) 區	
壹番 (番舊參)	順位番號		順位番號
明記明治 拾入京書 東市證 拾番地 同市麻 地三成一 壹分辨濟 年ケタル 受メニ書 トナ登記 ハトニ公 量ニ證簿 入ア郎	事 項 欄		事 項 欄
壹附 (番舊參) 番壹	順位番號		順位番號
右明記 ルコトチ 日舊登簿 明治ヨリ 貳丁ヨリ 受附第貳 明治第貳 附約定證 分五厘ニ 日ニ變更 附記ス	事 項 欄		事 項 欄
貳番	順位番號		順位番號
明記明治 公證第參 明治第參 附入證 市神田區 地大倉芳 債務者山 ノ辨濟ノ 入ト爲シ 記ス	事 項 欄		事 項 欄

八百九十一

乙 (權小七地 作承及上) 區		區 (權有所)	
	順位番號		順位番號
	事 項 欄		事 項 欄
	順位番號		順位番號
	事 項 欄		事 項 欄
	順位番號		順位番號
	事 項 欄		事 項 欄

土地登記簿

丁

八百九十

(權借賃) 區 戊	(權 抵 及 質 特 先) 當 蓄 七 權 權 取)
	順位番號
	事 項 欄
	順位番號
	事 項 欄
	順位番號
	事 項 欄

八百九十三

區

土地登記簿

丁

八百九十二

表題部 (示表地土)

表示番號

壹

貳

表示番號 表 示 欄
明治參拾貳年七月壹日

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

土地登記簿

表示番號

表 示 欄

欄

表示番號

表

示

欄

八百九十四

丁

甲

順位番號

壹

貳

順位番號 事 項 欄
明治參拾貳年七月壹日

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

順位番號

參

四

五

順位番號 事 項 欄
明治參拾貳年七月壹日

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

順位番號

六

七

順位番號 事 項 欄
明治參拾貳年七月壹日

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

受附 東京市本所區綠町四丁目
一宅地貳百七拾五坪
明治參拾貳年九月八日
受附 東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
東京市本所區綠町四丁目
目貳番地ノ壹
分宅地貳百坪
一宅地貳百坪
登記第貳號ニ移ス

八百九十五

區 乙 (權所有) 區		區 丙 (權役地)	
順位番號	壹	順位番號	壹
事 項	一 受附 建物所有ノ地上 權設定 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	參	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	四	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	參	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	四	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹

丁

區 乙 (權所有) 區		區 丙 (權役地)	
順位番號	壹	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	參	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	四	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	參	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹
順位番號	四	順位番號	壹
事 項	一 受附 建設 七月貳日第貳號 一 原因 同日契約 一 範圍 宅地全部 一 存續期間 貳拾五年 一 地上權者 東京市神田區淡路町貳丁目五番地 藤岡 忍	順位番號	壹

(權借貸) 區 戊		(權抵及質特先) 當ヒ權權取
壹	附 壹	順位番號
① 附記	一受附 明治參拾貳年 九月四日第拾號 一原因 同日契約 一存續期間 七箇年 一借貸 年金貳圓 一貸人 地上權者藤岡忍 一借人 東京市本郷區春木町壹丁目七番地 大芦 儀平	事 項 關
	附記 壹號	順位番號
	表示欄貳番ニテ分割シタル登記第貳號ト共ニ 一受附 明治參拾貳年 九月九日第拾號 一原因 同日契約	事 項 關
		順位番號
		事 項 關

八百九十九

區	
四	附記 壹號
一受附 明治參拾參年 貳月壹日第貳壹號 一原因 同日債務辨濟	決 ① 貳番質權ノ移轉 一受附 明治參拾貳年 拾貳月拾日第壹九號 一原因 同日債權ト共ニ讓渡 一取得者 東京市京橋區尾張町壹丁目八番地 曾爾 三郎

土地登記簿

丁

八百九十八

(示表物建) 部 題 表

壹	表	表	表	表	表
壹	明治參拾貳年七月參日 受附 東京市赤阪區臺町六番地 第壹號 一煉瓦造貳階建本家 建坪百五拾坪 外貳階七拾坪	貳	明治參拾貳年拾貳月貳日 受附 東京市赤坂區臺町六番地 第壹號 一煉瓦造貳階建本家 建坪百五拾坪 外貳階七拾坪 右種類構造建坪八設計 書ニ依ル 圖面綴込帳第壹册壹丁 附屬 第貳號 一木造瓦葺平家廐 建坪六坪	壹	附屬 第貳號 一木造瓦葺平家廐 建坪六坪 圖面綴込帳第壹册貳丁
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表
壹	表	表	表	表	表

丁

甲

壹	貳	參	伍	肆	伍
一受附 明治參拾貳年七月參日 一新築スヘキ建物所有者 東京市麴町區一番町貳番地 道田 春信 右丙區壹番ノ登記ヲ爲 スニ因リテ登記ス	一受附 明治參拾貳年拾貳月貳日 一所有者 東京市麴町區一番町貳番地 道田 春信 一受附 存 一受附 明治參拾貳年拾貳月貳日 一所有者 東京市麴町區一番町貳番地 道田 春信	一受附 強制競賣ノ申立 一受附 明治參拾貳年拾貳月貳日 一原因 同月拾八日 東京裁判所ノ強制競賣開始決定 一申立人 東京市神田區西小川町壹丁目五番地	一受附 移轉 一受附 明治參拾參年拾貳月拾五日 一原因 同月四日 東京裁判所ノ競落許可決定 一取得者 東京市赤坂區臺町貳拾番地 田中 正雄	一受附 古川 義三 一受附 立登記ノ抹消 一受附 明治參拾參年拾貳月拾五日 一原因 同月四日 東京裁判所ノ競落許可決定	一受附 強制競賣ノ申立 一受附 明治參拾貳年拾貳月貳日 一原因 同月拾八日 東京裁判所ノ強制競賣開始決定 一申立人 東京市神田區西小川町壹丁目五番地

丙	
貳	壹
定區裁 一原因 參月拾 一受附 壹番先 存登記 取特權 保 古川 義三	事 不動產 工事先 取 特權ノ 保存 一受附 明治參 拾貳年 七月參 日第壹 號 一原因 同年六 月拾日 建物新 築工事 請負 一費用 豫算額 金壹萬 五千圓 一辨濟 期 工 事終了 日 一先取 特權者 東京市 神田區 西小川 町壹丁 目 五番地

建物登記簿	乙	
	(權役地) 區	(權有所) 區
	順位番號	
	事	
	項	
	關	
	順位番號	
	事	
	項	
	關	
	順位番號	
	事	
	項	
	關	

(權借賃) 區 丁		(權抵及質特先) 當ヒ權權取
	順位番號	
	事 項 關	
	順位番號	
	事 項 關	
	順位番號	
	事 項 關	

區

建物登記簿

丁

●登記申請書式

(各申請書式ニ參照法令ノ條項ヲ挿入セリ)

不動産登記

(不ハ不動産登記法施行細則ノ略ナリ)

(明治三十二年六月十四日司法省民刑第一〇二五號通牒)

- 一登記ノ目的 所有權移轉ノ登記
- 一土地ノ價格 金何千何百圓
- 一登録ノ稅 金何圓
- 右登記相成度別紙土地賣渡證書及何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
- 明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 ㊟
 賣主 何
 何郡何村何番地 某
 買主 何
 某區裁判所 御中

建物賣買ニ付登記申請 (不三五、三六、三七、三八、施三八)

- 何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」
- 一木造瓦葺平家本家壹棟 建坪何坪
- 建物ノ番號 第何號
- 附屬建物 木造瓦葺土藏貳階建壹棟建坪何坪外貳階何坪
- 一登記原因及其日附 明治何年何月何日附建物賣渡證書

- 土地賣買ニ付登記申請 (不三五、三六、施三八)
- 何郡何村何番地
- 一宅地何反何畝何歩
- 一登記原因及其日附 明治何年何月何日付土地賣渡證書

- 一登記ノ目的 所有權移轉ノ登記
- 一買戻ノ特約 明治何年何月何日マテニ買戻ヲ爲スノ約
- 一建物ノ價格 金何百圓
- 一登録ノ稅 金何圓
- 右登記相成度別紙建物賣渡證書及何ノ某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
- 明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 ㊟
 賣主 何
 何郡何村何番地 某
 買主 何
 某區裁判所某出張所 御中

家督相續ニ付登記申請 (不二七、三五、三六、三七、四一、施三八)

- 何郡何村何番地
- 一宅地何反何畝何歩
- 此價格金何千圓
- 何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」
- 一木造瓦葺平家本家壹棟建坪何坪

建物ノ番號 第何號
 附屬建物 木造瓦葺土藏貳階建壹棟建坪何坪外貳階何坪

- 一登記原因及其日付 明治何年何月何日家督相續
- 一登記ノ目的 所有權移轉ノ登記
- 一不動産ノ價格 合計金何千圓
- 一登録ノ稅 金何圓
- 右登記相成度別紙身分登記ノ謄本相添此段申請候也
- 明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 ㊟
 賣主 何
 某區裁判所某出張所 御中

遺產相續ニ付登記申請 (不二七、三五、三六、三七、四一、施三八)

- 何郡何村何番地
- 一宅地何反何畝何歩
- 此價格金何千圓

何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」

一木造瓦葺平家本家壹棟 建坪何坪

建物ノ番號 第何號

附屬建物 煉化造瓦葺土藏貳階建壹棟建

坪何坪外貳階何坪

此價格金何千圓

一登記原因及其日付 明治何年何月何日遺產相

續

一登記ノ目的 所有權移轉ノ登記

一不動產ノ價格 金何千圓

一登録 稅 金何圓

右登記相成度別紙戶籍ノ謄本相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

某區裁判所某出張所 御中

何 某 御

土地所有權ノ保存ニ付登記申請

(不三六、一〇五、一〇七、施三八)

何郡何村何番地

一宅地何反何畝何歩

九百八

一登記ノ目的 土地所有權保存ノ登記

一土地ノ價格 金何千圓

一登録 稅 金何圓

右登記相成度別紙土地臺帳謄本相添不動產登記

法第百五條第壹號ニ依リ此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

某區裁判所某出張所 御中

何 某 御

某 御

建物所有權ノ保存ニ付登記申請

(不三六、三七、一〇六、

一〇七、施三八、四二)

何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」

一木造瓦葺平家本家 壹棟建坪何坪

附屬建物 木造瓦葺土藏貳階建壹棟建坪

何坪外貳階何坪

一登記ノ目的 建物所有權保存ノ登記

一建物ノ價格 金何千圓

一登録 稅 金何圓

右登記相成度別紙土地登記簿謄本及建物ノ圖面

相添不動產登記法第百六條第壹號ニ依リ此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

某區裁判所某出張所 御中

何 某 御

某 御

土地所有權ノ一部贈與ニ付登記申請

(不三五、三六、七八、施三八)

何郡何村何番地

一宅地何反何畝何歩

一登記原因及其日付 明治何年何月何日附贈與

證書

一登記ノ目的 所有權ノ一部移轉ノ登記

一權利移轉ノ部分 五分

一持分ノ價格 金何百圓

一登録 稅 金何圓

右登記相成度別紙贈與證書及ヒ何某ノ權利ニ關

スル登記濟證相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

贈與者 何 某 御

何郡何村何番地

受贈者 何 某 御

某區裁判所某出張所 御中

何 某 御

地上權設定ニ付登記申請

(不三五、三六、一一一、施三八)

何郡何村何番地

一宅地何反何畝何歩

一登記原因及其日付 明治何年何月何日附地上

權設定證書

一登記ノ目的 地上權設定ノ登記

一地上權設定ノ目的 建物ノ所有

一地上權ノ範圍 宅地ノ全部

一存續期間 明治何年何月何日ヨリ參拾ケ年

一時代壹ケ月 金何圓

一時代ノ支拂時期 毎月末日

一土地ノ價格 金何千圓

一登録 稅 金何圓

右登記相成度別紙地上權設定證書及ヒ何某ノ權

利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也

九百九

明治何年何月何日

何郡何村何番地
 土地ノ所有者 何 某 印
 何郡何村何番地
 地上權者 何 某 印
 某區裁判所某出張所
 御 中

永小作權設定ニ付登記申請

(不三五、三六、一一二、施三八)

- 何郡何村何番地
 一田何反何畝何歩
 一登記原因及其日付 明治何年何月何日付永小作權設定證書
 一登記ノ目的 永小作權設定ノ登記
 一存續期間 明治何年何月何日ヨリ貳拾五ヶ年
 一 小 作 料 壹ヶ年金何圓
 一 小 作 料 ノ 支 拂 時 期 毎 年 拾 貳 月 參 拾 壹 日
 一 土 地 ノ 價 格 金 何 千 圓
 一 登 錄 稅 金 何 圓
 右登記相成度別紙永小作權設定證書及ヒ何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也

明治何年何月何日 九百十

何郡何村何番地
 地 主 何 某 印
 何郡何村何番地
 永小作人 何 某 印
 某區裁判所某出張所
 御 中

地役權設定登記申請

(不三五、三六、一一三、施三八)

- 承役地 何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」
 要役地 何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」
 一登記原因及其日付 明治何年何月何日地役權設定證書
 一登記ノ目的 地役權設定ノ登記
 一 地 役 權 設 定 ノ 目 的 通 行
 一 地 役 權 ノ 範 圍 東 側 長 拾 五 間 幅 參 尺
 一 要 役 地 ノ 價 格 金 何 千 圓
 一 登 錄 稅 金 何 圓
 右登記相成度別紙地役權設定證書及ヒ何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
 明治何年何月何日

書及ヒ圖面相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 印
 承役地ノ所有者 何 某 印
 何郡何村何番地 某 印
 地役權者 何 某 印
 某區裁判所某出張所
 御 中

先取特權保存ニ付登記申請

(不三五、三六、一一五、一、三六、施三八、四二)

- 一設計書ニ定メタル建物
 木造瓦葺貳階建本家壹棟建坪何坪外貳階何坪
 附屬建物木造瓦葺土藏貳階建壹棟建坪何坪外
 貳階何坪
 敷地何市何區何町何番地「宅地何拾何坪」
 一登記ノ原因及其日付 明治何年何月何日附建物新築工事請負契約書
 一登記ノ目的 先取特權保存ノ登記
 一 工 事 費 用 ノ 豫 算 額 金 何 千 圓
 一 辨 濟 期 明 治 何 年 何 月 何 日
 一 登 錄 稅 金 何 圓
 右登記相成度別紙建物新築工事請負契約書設計

書及ヒ圖面相添此段申請候也

明治何年何月何日

何市何區何町何番地 某 印
 債 務 者 何 某 印
 何市何區何町何番地 某 印
 先取特權者 何 某 印
 某區裁判所
 御 中

質權設定ニ付登記申請

(不三五、三六、一一六、施三八)

- 何郡何村何番地
 一田何反何畝何歩
 一登記原因及其日付 明治何年何月何日金圓借用證書
 一登記ノ目的 質權設定ノ登記
 一 債 權 額 金 何 百 圓
 一 辨 濟 期 明 治 何 年 何 月 何 日
 一 登 錄 稅 金 何 圓
 右登記相成度別紙金圓借用證書及ヒ何ノ某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
 明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 ㊦
質權設定者 何 某 ㊦
何郡何村何番地
質權者 何 某 ㊦
某區裁判所某出張所 御 中

抵當權設定ニ付登記申請
(不三五、三六、一一七、施三八)

何郡何村何番地
一宅地何反何畝何歩
一登記原因及其日付 明治何年何月何日附金圓
借用證書
一登記ノ目的 抵當權設定ノ登記
一債權額 金何百圓
一辨濟期 明治何年何月何日
一利息ノ支拂時期 每年六月參拾日
一登録 稅 金何圓
右登記相成度別紙金圓借用證書及何ノ某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
明治何年何月何日

九百十二
何郡何村何番地 某 ㊦
抵當權設定者 何 某 ㊦
何郡何村何番地
抵當權者 何 某 ㊦
某區裁判所某出張所 御 中

貸借權設定ニ付登記申請
(不三五、三六、一二七、施三八)

何郡何村何番地
一宅地何反何畝何歩
一登記原因及其日付 明治何年何月何日貸貸借
證書
一登記ノ目的 貸借權設定ノ登記
一存續期間 明治何年何月何日ヨリ拾ヶ年
一借賃ノ支拂時期 壹ヶ月何圓
一土地ノ價格 金何千圓
一登録 稅 金何圓
右登記相成度別紙貸借證書及何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也
明治何年何月何日

何郡何村何番地 某 ㊦
賃貸人 何 某 ㊦
何郡何村何番地
賃借人 何 某 ㊦
某區裁判所某出張所 御 中

土地建物賣買豫約ニ付假登記申請
(不二、三三、三六、三七、施三八)

何郡何村何番地
一宅地何反何畝何歩
何郡何村何番地「宅地何反何畝何歩」
一木造瓦葺平家本家 壹棟建坪何坪
建物ノ番號 第何號
附屬建物 木造瓦葺土藏貳階建壹棟建坪
何坪外貳階何坪
一登記原因及其日付 明治何年何月何日附土地
建物賣買豫約證書
一登記ノ目的 所有權移轉ノ請求權ノ登記
一登録 稅 金何圓
右登記相成度別紙建物賣買豫約證書及ヒ假登記義務者ノ承諾書相添此段申請候也

明治何年何月何日 何郡何村何番地 某 ㊦
何 某 ㊦
某區裁判所某出張所 御 中

登記名義人ノ表示ノ變更ニ付登記申請
(不二八、三六、四三、施三八)

何郡何村何番地
一宅地何反何畝何歩
一登記原因及其日付 明治何年何月何日轉籍
一登記ノ目的 明治何年何月何日申請登記何號
所有權ノ登記中所有者何某ノ住所ヲ何郡何村何番地ト變更スル
コト
一登録 稅 金何拾錢
右登記相成度別紙戶籍ノ抄本相添此段申請候也
明治何年何月何日 何郡何村何番地 某 ㊦
何 某 ㊦
某區裁判所某出張所 御 中

分筆ニ付登記申請

(不三六、七九、八〇、施三八)

一分割前ノ土地 何郡何村何番地宅地貳反五畝

一分割シタル土地 何郡何村何番地ノ貳宅地壹畝

一現在ノ土地 何郡何村何番地ノ壹宅地壹反參畝

一登記原因及其日付 明治何年何月何日分割

一登記ノ目的 分筆ノ登記

一登録 稅 金何拾錢

右登記相成度別紙土地臺帳謄本及分割シタル土地ニ付キ抵當權者何某カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタル書面相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

何

某 ㊦

某區裁判所某出張所

御中

地上權ノ變更ニ付登記申請

(不三五、三六、五六、施三八)

何郡何村何番地

九百十四

一宅地何反何畝何歩

一登記原因及其日付 明治何年何月何日付契約

證書

一登記ノ目的 明治何年何月何日申請登記第何

號地上權設定ノ登記中存續期間參拾年ヲ貳拾年ト短縮スルコト

一登録 稅 金何拾錢

右登記相成度別紙何某ノ承諾書及何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

地上權設定者 何

某 ㊦

何郡何村何番地

地上權者 何

某 ㊦

某區裁判所某出張所

御中

抵當權ノ消滅ニ付登記申請

(不三五、三六、施三八)

何郡何村何番地

一宅地何反何畝何歩

一登記原因及日付 明治何年何月何日貸金受取

證書

一登記ノ目的 明治何年何月何日申請登記第何

號抵當權設定ノ登記ノ抹消

一登録 稅 金何拾錢

右登記相成度別紙貸金受取證書及ヒ何某ノ權利ニ關スル登記濟證相添此段申請候也

明治何年何月何日

何郡何村何番地

抵當權者 何

某 ㊦

何郡何村何番地

抵當權設定者 何

某 ㊦

某區裁判所某出張所

御中

商業登記

(商ハ商法非ハ非訟事)

(件手續法ノ略ナリ)

商號新設登記申請書

(商一六、非一四九、一六〇)

一登記目的及事由

九百十五

地上權ヲ目的トスル抵當權設定ニ付登記申請(不三五、三六、一一八、施三八)

一抵當權ノ目的タル權利 何郡何村何番地宅地

何反何畝何歩ノ上ニ

設定シタル順位第何

番ノ地上權

一登記原因及其日付 明治何年何月何日附金圓

借用證書

商號新設ノ登記

登記事項

一 商號使用人氏名住所

何市何區何町何番地 何之誰

一 商號

何々屋

一 營業ノ種類

何々

一 營業所

何市區何町何番地

一 登録稅

金七圓

右中請候也

大正年月日

住所

氏

名 印

何々區裁判所
御中

商號登記變更申請書

(商一五、非一四九、一六〇)

一 登記目的及事由

商號使用者轉居ニ付變更登記

登記事項

一 舊登記 使用者住所

何市區町番地

新登記 轉居地

何市區何町何番地

一 商號

何々屋

一 營業ノ種類

何々

一 登録稅

金壹圓五拾錢

右登記申請候也

大正年月日

住所

氏

名 印

何々區裁判所
御中

商號取得登記申請書

(商二一、二二、非一四九、一六一)

一 登記目的及事由

商號讓受ニ付取得登記

登記事項

一 舊所有者氏名住所

何市何町何番地 何之誰

新所有者氏名住所

何市何町何番地 何之誰

一 營業ノ種類

何々

一 商號

何々

一 登録稅

金七圓

右商號讓渡證書相添登記申請候也

大正年月日

住所

讓渡人氏

名 印

住所

讓受人氏

名 印

何々區裁判所
御中

商號廢止ニ付登記抹消申請書

(商一五、非一四九、一六一)

一 登記目的及事由

商號廢止ニ付登記抹消

登記事項

一 何區登記簿第何號ノ商號廢止ニ付抹消

營業ノ種類

何々

一 商號

何々

一 登録稅 金壹圓五拾錢

右登記申請候也

大正年月日

住所

氏

名 印

何々區裁判所
御中

未成年者登記

未成年者營業登記申請書

(商五、非一四九、一六六)

一 登記目的及事由

未成年者營業許可ノ登記

九百十七

登記事項
 一營業ノ種類
 一商 筆墨商
 一商 號
 何々屋
 一營業所
 未成年者住所ニ同
 一登録稅
 金參圓
 右實母某及親族會員ノ同意書相添登記申請候也
 大正年月日

住所
 (未成年者) 氏 名 ㊟
 何々區裁判所 御中

妻登記

妻登記申請書
 (商五、非一四九、一六七)
 一登記目的及事由
 妻ノ營業ニ付夫ノ許可登記
 登記事項

一營業ノ種類
 何々商
 一商 號
 何々
 一營業所
 何市區何町何番地
 一登録稅
 金參圓
 右夫某ノ許可證相添登記申請候也
 大正年月日

住所
 某 妻 氏 名 ㊟
 何々區裁判所 御中

妻登記抹消申請書

(商一五、非一四九、一六八)
 一登記目的及事由
 妻ノ營業ニ付夫ハ許可ヲ取消タルニ付登記
 抹消
 登記事項
 一營業ノ種類

何々
 一商 號
 何々
 一營業所
 何市區何町何番地
 一登録稅
 金壹圓五拾錢
 右許可取消證書相添登記抹消申請候也
 大正年月日

住所
 某 妻 氏 名 ㊟
 何々區裁判所 御中

法定代理人ノ登記

法定代理人營業登記申請書
 (商七、非一四九、一七一)
 一登記目的及事由
 法定代理人カ無能力者ノ爲ニ營業ヲ爲スコ
 トヲ親族會ニテ許可シタルノ登記
 登記事項
 一法定代理人氏名住所

何市區何町何番地 何之誰
 一無能力者氏名住所
 何市何町何番地 何之誰
 一營業ノ種類
 何々
 一營業所
 何市何町何番地
 一登録稅
 金參圓
 右親族會ノ同意書相添申請候也
 大正年月日

住所
 法定代理人 氏 名 ㊟
 何々區裁判所 御中

法定代理人登記抹消申請書

(商一五、非一四九)
 一登記目的及事由
 法定代理人改選ニ付抹消登記
 抹消事項
 一法定代理人氏名住所
 九百十九

何市何町何番地 何之誰
一營業ノ種類 何々

抹消ス可キ登記

明治何年月日申請登記第何號

一登録稅

金壹圓五拾錢

右法定代理人改選ニ關スル親族會決議書相添へ
登記抹消申請候也

大正年月日

住所

氏

名

御

何々區裁判所

御中

支配人登記

支配人選任登記申請書

(商三一、非一四九、一七二、一七三)

一登記目的及事由

支配人選任登記

登記事項

一支配人氏名住所

九百二十

何市何町何番地 何之誰

一主人ノ氏名住所

何市何町何番地 何之誰

一主人ノ營業

何々

一支配人ノ用ユ可キ商號

何々

一支配人ノ置キタル場所

何市區何町何番地

一登録稅

金七圓

右登記申請候也

大正年月日

住所

氏

名

御

何々區裁判所

御中

支配人選任登記申請書(會社)

(商三一、非一四九、一七二、一七三)

一登記目的及事由

支配人選任登記

登記事項

一支配人ノ氏名住所

何市區何町何番地 何之誰

一主人會社ノ商號及營業所

何市區何町何番地 何々合名會社

一支配人ノ置キタル場所

何市何町何番地

一支配人ノ營業

何々

一會社設立ノ年月日

大正年月日

一登録稅

金七圓

右支配人ノ選任書相添登記申請候也

大正年月日

右何々合名會社

代表社員 氏

名

御

何區裁判所

御中

支配人登記抹消申請書

(商一五、三一、非一四九、一七四)

一登記目的及事由

支配人解任ニ付登記抹消

登記抹消事項

一支配人氏名住所

何市區何町番地 何之誰

一會社ノ商號及營業所

何々合資會社何市町番地

一支配人ノ置キタル場所

何市區何町番地

一支配人ノ營業

何々

一登録稅

金壹圓五拾錢

右支配人解任ヲ證スル書面相添へ申請候也

大正年月日

右何々合資會社代表

無限責任社員

住所

氏

名

御

何々區裁判所

御中

九百二十一

合名會社

合名會社設立登記申請書

(商四五、五一、非一四九、一七九)

一 登記目的及事由

合名會社設立登記

登記事項

一 商號

何々合名會社

一 目的

何々製造

一 本店及支店

本店 何市何町何番地

支店 何縣何郡何番地

一 社員ノ氏名住所

何府何郡何番地 何之誰

何市何區何町何番地 何之誰

何縣何郡何村何番地 何之誰

一 設立ノ年月日

大正年月日

一 存立時期

滿拾五ヶ年間

一 社員出資ノ種類及價額

九百二十二

金何萬圓

何之誰

金何萬圓

何之誰

金何千圓

何之誰

一 代表社員

何之誰

一 資本總額

金何萬圓

一 登錄稅

金何々圓

右定款及委任狀相添登記申請候也

大正年月日

右

氏

氏

氏

右三名代理人

住所

氏

何々區裁判所

御中

名

印

名

印

名

印

名

印

合名會社支店設立登記申請書(支店所)

(在地)

(商五一、非一四九、一五〇ノ三)

一 登記目的及事由

大正年月日合名會社支店設立登記

登記事項

一 支店ノ商號

何々合名會社支店

一 支店設置ノ場所

何市何町何番地

一 本店所在地及商號

何市何區何町何番地 何々合名會社

一 本店設立ノ年月日

大正年月日

一 支店設立ノ年月日

大正年月日

一 社員出資ノ種類及價格

金何々圓 何之誰

金何々圓 何之誰

一 社員ノ氏名住所

何市何區何町何番地 何之誰

何市何區何町何番地 何之誰

一 代表社員 何之誰

一 登錄稅

金壹圓五拾錢

右本店所在地ニ於テ爲シタル登記簿謄本相添申請候也

大正年月日

右代表社員

氏

何々區裁判所

御中

名

印

合名會社支店設立登記申請書(本店所)

(在地)(商五一、非一四九、一八〇)

一 登記目的及事由

大正年月日支店設立登記

登記事項

一新ニ設立セシ支店所在地

何市何區何町何番地

一 本店所在地及商號

何市何區何町何番地 何合名會社

一 登錄稅

金拾五圓

右總社員ノ決議書相添申請候也

九百二十三

大正年月日

右代表社員

住所

氏

名 ㊦

何々區裁判所

御中

合名會社本店移轉登記申請書

(商五二ノ二項、非一四九、一八〇)

一登記目的及事由

大正年月日本店移轉登記

一登記事項

一舊所在地

何々市何區何町何番地

新移轉地

何市何區何町何番地

一商 號

何々合名會社

一登錄稅

金七圓

右總會ノ決議書相添申請候也

大正年月日

九百二十四

何市何區何町何番地

何々合名會社

代表社員

住所

氏

名 ㊦

何々區裁判所

御中

合名會社解散登記申請書

(商七四、七六、非一四九、一八一)

一登記目的及事由

大正年月日解散登記

一登記事項

一大正年月日總社員ノ同意ニ依リ解散ス

一登錄稅

金五圓

右總社員ノ決議書相添申請候也

大正年月日

何市何區何町何番地

何々合名會社

住所

社員 氏

名 ㊦

御中

合名會社解散ニ付清算結了

登記申請書

(商九九、非一四九、一七八)

一登記ノ目的及事由

何々合名會社解散清算結了ニ付大正年月日

總社員ノ承認ヲ經タリ

登記事項

一大正年月日 清算結了

一登錄稅

金壹圓五拾錢

右總社員ノ承認書相添登記申請候也

大正年月日

何市何區何町何番地

何々合名會社

清算人

住所

住所

氏

名 ㊦

氏

名 ㊦

何々區裁判所

九百二十五

何々區裁判所

御中

社員 住所
氏 氏

名 ㊦

合名會社解散ニ付清算人選任登記

申請書

(商九〇、非一四九、一七五、一七六)

一登記目的及事由

大正年月日會社解散ニ依リ清算人選任登

記

登記事項

一清算人住所氏名

一登錄稅

金壹圓五拾錢

右總社員ノ清算人選任書相添申請候也

大正年月日

何市何區何町何番地

何々合名會社

清算人

住所

住所

氏

名 ㊦

何々區裁判所

合名會社合併登記申請書

(商四四ノ三、五一、非一四)
(九、二八二ノ三、一八三)

一 登記目的及事由

大正年月日合名會社何々及何合名會社ト合併シ更ニ何々合名會社ヲ設立スルノ登記

一 商號

何々合名會社

一 目的

手形割引營業

一本 店

何市何區何町何番地

一 社員ノ氏名住所

何市何區何町何番地 何之誰
何市何區何町何番地 何之誰
何市何區何町何番地 何之誰
何市何區何町何番地 何之誰

一 設立ノ年月日

大正年月日

一 存立時期

不定

一 社員出資ノ種類及價格

金何々圓 何之誰
金何々圓 何之誰
金何々圓 何之誰
何市區町番地
土地建物
此價格何々圓 何之誰

一 代表社員

何之誰

一 資本總額

金何々圓

一 登錄稅

金何々圓

右定款并ニ公告及ヒ催告ヲ爲シタル書面及ヒ合併ニ付選任セラレタル者ノ資格證明書相添登記申請候也
大正年月日

右
社員 氏 名 印
同

同 氏 名 印
同 氏 名 印
同 氏 名 印
何々區裁判所 御中

合資會社

合資會社ニ關スル申請書式ハ合名會社ノ申請書式ト同一ナリ但合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ爲ス可キ登記ハ合資會社ニハ其無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

株式會社

株式會社設立ノ登記申請書

(商一四一、非一四九、一八七)

一 登記目的及事由

株式會社設立ノ登記

一 商號

何々株式會社

一本 店

何市何區何町何番地

一支 店

何府何郡何村何番地
何縣何町何番地

一 目的

何々製造及輸出

一 設立

大正年月日

一 資本總額

金何々圓

一 壹株ノ金額

金何々圓

一 壹株ノ拂込金額

金何々圓

一 會社公告ノ方法

何々何々

一 取締役ノ氏名住所

何市區町番地 何之誰
何府何郡村番地 何之誰
何縣何町番地 何之誰

一 監査役ノ氏名住所

九百二十七

何市區町番地 何之誰

一登錄稅

金七圓

右移轉屆書相添申請候也

大正年月日

何市區町番地

何々株式會社

住所

取締役 氏

名 ㊦

何々區裁判所

御中

株式會社資本增加登記申請書

(商二一七、非一四九、一八九、一九五)

一登記目的及事由

大正年月日資本增加ニ關スル株主總會終結

ニ付資本增加登記

登記事項

一增加シタル資本ノ總額 何萬圓

一資本增加決議ノ年月日

大正年月日

一各新株ニ付キ拂込ミタル株金額

九百三十二

金何圓

一新株拂込總額

金何々圓

一登錄稅

金何々圓

一添付書類

一株式ノ引受ヲ證スル書面

一株式申込證

一商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒタル調査報告

書及其附屬書類

一資本增加ニ關スル株主總會ノ決議錄

一各申請人ノ委任狀

右登記申請候也

大正年月日

何々府郡村番地

何々株式會社

住所

取締役 氏

名

住所

取締役 氏

名

住所

取締役 氏

名

住所

監査役 氏

名

住所

右五名代理人

名

何々區裁判所

御中

株式會社資本減少登記申請書

(商二二〇、二二五、非一四九、一九〇)

一登記目的及事由

資本減少ノ登記

登記事項

一減少シタル資本額

金何々圓

一拂戻シタル金額

金何々圓

一減少シタル株數

何々株

一殘株數

何々株

一添付書類

金何圓

一新株拂込總額

金何々圓

一登錄稅

金何々圓

一添付書類

一株式ノ引受ヲ證スル書面

一株式申込證

一商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒタル調査報告

書及其附屬書類

一資本增加ニ關スル株主總會ノ決議錄

一各申請人ノ委任狀

右登記申請候也

大正年月日

何々府郡村番地

何々株式會社

住所

取締役 氏

住所

取締役 氏

住所

取締役 氏

住所

取締役 氏

一商法第七十八條第二項ニ依ル公告催告ヲ爲シ

タルゴトヲ證スル書面

一資本減少ニ對スル異議申述ノ債主ニ擔保ヲ供

シタル書面

一資本減少ニ關スル株主總會ノ決議錄

一登錄稅

金七圓

右登記申請候也

大正年月日

何市區町番地

何々株式會社

住所

取締役 氏

名 ㊦

以下總取締役監査役連署

何々區裁判所

御中

株式會社合併ニ依ル登記變更申請書

(商二二五、非一四九、一)

(九三ノ二、一九五)

一登記目的及事由

株式會社何々製造所ハ大正年月日解散シテ

九百三十三

本會社ニ合併シ本會社ハ因テ資本金ヲ増加シタリ

登記事項

株式會社何々製造所合併ニ因リ資本増加ス

一 資本ノ總額

金何々圓

二 合併ニ因リ増加シタル資本額

金何々圓

一 登録稅

金何々圓

添付書類

一 商法第七十八條第二項ニ依ル公告催告ヲ爲シタルコトヲ證スル書面

一 右ニ對スル異議申述ノ債主ニ擔保ヲ供シタル書面

一 商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒテ監査役又ハ檢査役カ爲シタル調査報告書及ヒ其附屬書類

一 株式ノ割當並ニ引受ヲ證スル書面

一 株主總會ノ決議錄

右申請候也

大正年月日

何府郡村番地

九百三十四

株式會社何々所

住所

取締役 氏

住所

取締役 氏

住所

取締役 氏

住所

監査役 氏

住所

監査役 氏

住所

何區裁判所

御中

名 名 名 名 名
印 印 印 印 印

株式合資會社設立登記申請書

(商二四二、非一四九、一九六)

一 登記目的及事由

株式合資會社設立ノ登記

登記事項

一 商 號

何々株式合資會社

一本 店

何市何區何町番地

一支 店

何市何區何町番地

一 目的

生絲貿易

一 設立年月日

大正年月日

一株金ノ總額

金何々圓

一 壹株ノ金額

金何々圓

一 各株ノ拂込金額

金何々圓

一 公告ノ方法

官報及何々新聞ニ掲載

一 代表社員ノ氏名

何之誰

一 監査役ノ氏名

何之誰

何之誰

一 無限責任社員氏名住所

何市區町番地 何之誰

一 無限責任社員株金以外出資種類及財產之目的トスル出資價額

金何々圓 何之誰

汽船何々丸 何之誰

價額金何々圓

一 資本出資總額

金何々圓

一 登録稅

金何々圓

添付書類

一定 款

一 各株主ノ申込證及株主名簿

一 商法第三十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル調査報告書及其附屬書類

一 檢査役ノ報告ニ關スル裁判ノ謄本

一 創立總會ノ決議錄

右登記申請候也

大正年月日

何市何區町番地

何々株式合資會社

住所

九百三十五

無責任社員 氏 名 印
 住所
 無限責任社員 氏 名 印
 住所
 無限責任社員 氏 名 印
 住所
 同 監查役 氏 名 印
 住所
 同 監查役 氏 名 印
 住所
 何々區裁判所 御中

外國會社
 何々合名會社支店設立登記申請書
 (商二五五、非一四九、二〇二)
 一登記目的及事由
 總會ノ決議ニ依リ大正年月日支店設立

登記事項
 一商號
 何々合名會社
 一目的
 何々
 一本店
 何々市何街何號
 一支店
 何市何區何町番地
 一社員ノ氏名住所
 住所 氏名
 住所 氏名
 一本店設立年月日
 西曆年月日
 一支店設立年月日
 大正年月日
 一代表社員
 氏名
 一出資額
 本國法ニ規定ナキヲ以テ掲ケス
 一添付書類
 一本店ノ存在ヲ證スル書面

一代表者タル資格ヲ證スル書面
 一定款
 一登録稅
 金壹圓五拾錢
 右登記申請候也
 大正年月日

住所
 右代表社員 氏 名 署名
 何々區裁判所 御中

●船舶登記

(船ハ船舶登記規則ノ略ナリ)

船舶所有權保存登記申請書
 (船一、八、一四、一五、八)
 一船舶ノ種類名稱及積量
 汽船 何々丸總噸數何百噸
 登簿噸數何百噸
 一船籍港
 何々港
 一登記原因及其日附
 大正年月日國籍取得

一登記目的
 所有權保存
 登記事項
 一國籍取得ノ日 年月日
 一外板ノ材料 木
 一船骨ノ材料 木
 一橋ノ數 寄本
 一總噸數 何百噸
 一登簿噸數 何百噸
 一進水ノ年月日 不詳
 一汽機種類及數 何々何個
 一汽鐘種類及數 何々何個
 一推進器種類 何々
 一汽機製造年月日 西曆何年明治年月日
 一汽鐘製造年月日 不詳
 一船舶ノ價額
 金何々圓
 一登録稅
 金何々圓
 右別紙目錄ノ書類相添申請候也
 大正年月日
 住所
 九百三十七

申請人氏 名
何々區裁判所 御中

- 添付書類目錄
- 一 自己所有ノ證
- 一 船舶件名書謄本
- 一 汽機製造年月日ノ證明書
- 一 申請人ハ日本人タルノ證
- 以上

船舶登記變更申請書

(船一、七、八、二一、二二ノ二)

- 一 船舶種類名稱及積量
- 帆船 何々丸 積重 何百石
- 一 船舶籍港 何々港
- 一 登記原因及其日附
- 大正年月日船體修繕
- 一 登記目的
- 積量變更

九百三十八
舊登記 何百石
變更 何百石

右登記證書及ヒ船舶原簿ノ謄本相添申請候也
大正年月日

住所 申請人氏 名 印
何々區裁判所 御中

船舶登記變更申請書

(船一、七、八、二一、二二ノ二)

- 一 船舶種類名稱積量
- 汽船 何々丸 總噸數 何々噸
- 登簿噸數 何々噸
- 一 船舶籍港 何々港
- 一 登記原因及其日附
- 大正年月日船籍港變更
- 一 登記目的

船舶籍港 變更
舊船籍港 何々港
新船籍港 何々港

一 登錄稅 金拾錢

右登記證書登記簿謄本及船舶原簿ノ謄本相添申請候也
大正年月日

住所 申請人氏 名 印
何々區裁判所 御中

船舶登記更正申請書

(船一、七、八)

- 一 船舶ノ種類名稱積量
- 汽船 何々丸 積量 總噸數 何噸
- 登簿噸數 何噸
- 一 船舶籍港 何々港
- 一 登記原因及其日附
- 大正年月日海事局通知

一 登記目的 積量更正

登記事項 舊登記 登簿噸數 何々噸
更正 登簿噸數 何々噸

一 登錄稅 金拾錢

右登記證書及ヒ海事局ノ噸數更正通知書相添登記申請候也
大正年月日

住所 申請人氏 名 印
何々區裁判所 御中

船舶所有權移轉登記申請書

(船一、七、八、一八)

- 一 船舶種類名稱積量
- 汽船 何々丸 總噸數 何噸登簿噸數 何噸
- 一 船舶籍港 何々港

一登記原因及其日附
大正年月日賣買

一登記目的
所有權移轉

一船舶ノ價額
金何々圓

一登録稅
金何々圓

右原因ヲ證スル書面義務者ノ權利ニ關スル登記
濟證權利者ノ日本人タル證明書及船舶登記證書
相添申請候也
大正年月日

住所
登記權利者 氏 名 ④

住所
登記義務者 氏 名 ④

何々區裁判所
御中

船舶登記抹消申請書
(船一、七、八、三〇)

一船舶ノ種類名稱積量

九百四十
汽船 何々丸 總噸數何噸 登簿噸數何噸

一船籍港
何々港

一登記原因及其日附
大正年月日沈沒

一登記目的
所有權抹消

一登録稅
金拾錢

右登記證書及ヒ沈沒ニ關スル浦役場ノ證明書相
添申請候也
大正年月日

住所
申請人 氏 名 ④

何々區裁判所
御中

●法人登記
(民法非ハ非訟事件手續法ノ略)
法人設立登記申請書
(民四五、四六、非一二〇、一二五)

一名 稱
何々會

一事務所
何市區町番地

一目 的
何々何々

一設立年月日
大正年月日

一資本總額
金何々圓

一出資方法
何々

一理事ノ氏名住所
何市區町番地 何之誰

一登記ノ目的
何市區町番地 何之誰

一登録稅
金壹圓五拾錢

右別紙目錄ノ書類相添登記申請候也
大正年月日

右

住所
理事 氏 名 ④

住所
理事 氏 名 ④

何々區裁判所
御中

添付書類
一定 款
一理事ノ資格ヲ證スル書面
一主務官廳ノ許可書
以上

法人登記變更申請書
(民四六、非一二一、一二五)

一登記原因及其日附
大正年月日總社員ノ協議

一登記目的
目的變更
變更事項

一目的ニ何々ノ一項ヲ加フ

一登録稅

九百四十一

金七拾錢

右會員ノ協議書及理事ノ資格ヲ證スル書面相添
へ申請候也
大正年月日

何市區町番地
何々會理事
住所

氏 名 印

何々區裁判所
御中

法人解散登記申請書

(民七七、非一二二、一二五)

一登記原因及其日附

大正年月日會員 決議

一登記目的

會員ノ決議ニ依リ解散

一登録稅

金何圓

右解散ノ事由ヲ證スル書面相添申請候也

大正年月日

何縣何郡何番地

九百四十二

元何々會
元理事清算人
住所

氏 名 印

何々區裁判所
御中

●夫婦財產契約登記

(民ハ民法非ハ非訟事件手續法ノ略)
夫婦財產契約登記申請書

(民七九四、非一二三、一二五)

一登記原因及其事由

大正年月日結婚契約ニ依リ

一登記目的

法定財產制ニ異ナル契約ノ登記

一登記事項

婚姻ニ依リ婦ノ財產ハ共有トス

一婚姻中雙方カ得タル財產ハ各共有トス

一協議上離婚ヲ爲ス場合ニハ財產ハ各之ヲ平分

一登録稅

金參圓

右財產契約書相添申請候也

大正年月日

何市區町番地

氏 名 印

何市區町番地

氏 名 印

何々區裁判所

御中

夫婦財產契約登記變更申請書

(民七九七、非一二三、一二五)

一登記原因及其事由

大正年月日夫婦財產契約變更

一登記目的

何々

何々

一登録稅

金參圓

右變更契約書相添申請候也

大正年月日

何市區町番地

氏 名 印

何々區裁判所

御中

氏 名 印

夫婦財產契約登記變更申請書

(民七九七、非一二三、一二五)

一登記原因及其事由

大正年月日婚姻契約履行

一登記目的

婦某ハ夫ノ家ニ入りタリ

一登録稅

金參圓

右登記申請候也

大正年月日

何市區町番地

氏 名 印

氏 名 印

何區裁判所

御中

九百四十三

◎確定日附簿及日附
 アル印章調製方
 (明治三十一年七月司法省令第七號)
 確定日附簿及ヒ日附アル印章調製方左ノ通相定ム
 第一條 登記所及ヒ公證人役場ニ備フヘキ確定日附簿及日附アル印章ハ左記雜形ニ依リ之ヲ

調製スヘシ
 第二條 登記所ニ備フヘキ確定日附簿ハ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リテ之ヲ渡スヘシ
 第三條 公證人ニ於テ確定日附簿ヲ調製シタルトキハ記入前管轄地方裁判所長ニ差出シ其契印ヲ請フヘシ

九百四十四

確定日附簿

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

日附アル印章及ヒ割印		第參號		日附アル印章及ヒ割印		第壹號	
署名者ノ氏名		署名者ノ氏名		署名者ノ氏名		署名者ノ氏名	
							
							
日附アル印章及ヒ割印		第肆號		日附アル印章及ヒ割印		第貳號	
署名者ノ氏名		署名者ノ氏名		署名者ノ氏名		署名者ノ氏名	

九百四十五

日附 アル 印章 及ヒ 割印	第五號		日附 アル 印章 及ヒ 割印	第六號	
	署名者 ノ 氏名	件名		署名者 ノ 氏名	件名
日附 アル 印章 及ヒ 割印	第七號		日附 アル 印章 及ヒ 割印	第八號	
	署名者 ノ 氏名	件名		署名者 ノ 氏名	件名

第三編 稅法及ヒ製表

登錄稅之部

◎登錄稅法

(明治二十九年三月法律第二十七號)

第一條 登錄稅ハ本法ノ定ムル所ニ依リ賦課徵收ス

第二條 不動産ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得
不動産價格 千分ノ五

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺產相續ニ因ル所有權ノ取得
不動産價格 千分ノ五

三 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得
不動産價格 千分ノ六十

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂及民法第三十

四條ニ依リ設立シタル社團又ハ財團法人カ

寄附行爲ニ依リ所有權ヲ取得シタルトキハ
不動産價格 千分ノ三十

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得
不動産價格 千分ノ卅五

五 從來保有セル所有權ノ保存
不動産價格 千分ノ五

六 共有物ノ分割
分割ニ因リテ受クル不動産ノ價格 千分ノ五

七 永代ノ地上權ノ取得
不動産價格 千分ノ卅五

八 地上權、永小作權ノ取得
存續期間十年未滿不動産價格千分ノ二

存續期間二十年未滿不動産價格千分ノ三

存續期間三十年未滿不動産價格千分ノ四

存續期間三十年以上不動産價格千分ノ五

存續期間ノ定メナキモノ
不動産價格 千分ノ五

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過

シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期

ヲ以テ存續期間ト看做シ登錄稅ヲ計算ス

九 賃借權ノ取得
存續期間十年未滿不動産價格千分ノ一

存續期間十年以上不動産價格千分ノ二

存續期間ノ定メナキモノ
不動産價格 千分ノ一

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過

九百四十七

シタル期間中存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期
ヲ以テ存續期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス
十 地役權ノ取得 要役地價格 千分ノ一
十一 華族世襲財產ノ創設

十二 先取特權ノ保存又ハ取得
債權金額又ハ不動產 千分ノ六
工事費用豫算金額 千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ先取特權ノ目的
タルモノ、價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ
先取特權ノ目的タルモノ、價格ヲ以テ債權
金額ト看做ス

十三 質權、抵當權ノ取得 債權金額千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目
的タルモノ、價格カ債權金額ヨリ寡キトキ
ハ質權抵當權ノ目的タルモノ、價格ヲ以テ
債權金額ト看做ス

十四 競賣、強制管理ノ申立
債權金額 千分ノ六
但シ競賣若ハ強制管理ニ付スヘキモノ、價
格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノ價格ヲ以
テ債權金額ト看做ス

第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ
取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル
第三條 船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ
區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺產相續ニ因
ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三
三 遺言、贈與其ノ他無價名義ニ因ル所有權
ノ取得 船舶價格 千分ノ五

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有
權ノ取得 船舶價格 千分ノ三
五 從來保有セル所有權ノ保存 船舶價格 千分ノ三

六 賃借權ノ取得
存續期間十年未滿 船舶價格 千分ノ一
存續期間十年以上 船舶價格 千分ノ二
存續期間ノ定メナキモノ
但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過
シタル期間中存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期
ヲ以テ存續期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス

十五 假差押、假處分、債權金額千分ノ四
但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ
債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ
以テ債權金額ト看做ス

十六 抵當ノル債權ノ差押債權金額千分ノ六
但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額
ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權
金額ト看做ス

十七 相續財產ノ分離
所有權ニ付テハ不動產價格千分ノ六
所有權以外ノ權利ニ付テハ

十八 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登
記ノ回復 不動產每一箇金貳拾錢
十九 假登記 不動產每一箇金貳拾錢
二十 (削除)

二十一 附記登記 不動產每一箇金拾錢
但シ一件ニ付稅額金參拾錢ヲ超ユルトキハ
參拾錢トス
二十二 登記ノ更正 更又ハ抹消 不動產每一箇金拾錢
但シ一件ニ付稅額金參拾錢ヲ超ユルトキハ
參拾錢トス

七 質權、抵當權ノ取得 債權金額千分ノ六
但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目
的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキ
ハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ
債權金額ト看做ス

八 競賣ノ申立 債權金額 千分ノ六
但シ競賣ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額
ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權
金額ト看做ス

九 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四
但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ
債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ
以テ債權金額ト看做ス

十 抵當ノル債權ノ差押債權金額千分ノ六
但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額
ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權
金額ト看做ス

十一 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登
記ノ回復 船舶每一箇金貳拾錢
十二 假登記 船舶每一箇金貳拾錢
十三 (削除)
十四 附記登記 船舶每一箇金拾錢
但シ一件ニ付稅額金參拾錢ヲ超ユルトキハ
九百四十九

參拾錢トス

十五 登記ノ更正變更又ハ抹消

但シ一件ニ付稅額金參拾錢ヲ超ユルトキハ

參拾錢トス

第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ

取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル

第三條ノ二 鐵道抵當原簿、輕便鐵道抵當原簿

又ハ軌道抵當原簿ニ登錄ヲ受クルトキハ左ノ

區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立 債權金額千分ノ一

三 登錄ノ更正、變更又ハ抹消 每一件金貳圓

第三條ノ三 工場財團登記簿ニ登記ヲ受クルト

キハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額千分ノ一

第三條ノ四 礦業財團登記簿ニ登記ヲ受クルト

九百五十

キハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得 債權金額千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立 債權金額千分ノ一

三 假差押、假處分 債權金額千分ノ一

第四條 登記ノ更正、變更又ハ抹消 每一件金貳圓

從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 新規登錄 每十噸 金五拾錢

二 轉籍 每十噸 金拾錢

三 除籍 每十噸 金五錢

四 登錄ノ變更 船舶每一箇金拾錢

船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未滿ノ端

數ハ十噸トシテ計算ス

第五條 土地臺帳ニ左ノ事項ヲ登錄スルトキハ

土地所有者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 新規登錄 地價 千分ノ二十

二 地價ノ設定 地價 千分ノ十

三 地價ノ修正 地價 千分ノ十

四 開墾 地價 千分ノ十

五 開墾下年期付與 地價 千分ノ十

六 地價据置年期付與 地價 千分ノ十

七 新開免租年期延長 地價 千分ノ十

八 缺下年期、地價据置年期ノ延長 地價 千分ノ十

九 低價年期ノ付與 地價 千分ノ一

十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正 地價 千分ノ一

十一 地價ノ復舊 地價 千分ノ一

本條中地價未設定ノ土地ハ近傍類地地價ノ比

準ニ依ル

第六條 商事會社其ノ他營利ヲ目的トスル法人

ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登

錄稅ヲ納ムヘシ但シ第一號第三號第六號第九

號ノ場合ニ於テ稅金額拾五圓未滿ナルトキハ

拾五圓トス

一 合名會社、合資會社設立 財產ヲ目的トス 千分ノ四

二 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

三 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

四 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

五 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

六 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

七 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

八 合名會社、合資會社出資增加 財產ヲ目的トス 千分ノ四

三 株式會社設立、拂込株金額 千分ノ五

四 株式會社資本増加 株式會社第二回以後ノ株金額 千分ノ五

五 株式會社第二回以後ノ株金額 株式會社第二回以後ノ株金額 千分ノ五

六 株式合資會社設立 拂込株金額及財產ヲ目的トス 千分ノ五

七 株式合資會社資本増加 株式合資會社資本増加 千分ノ五

八 株式合資會社第二回以後ノ株金額 株式合資會社第二回以後ノ株金額 千分ノ五

九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立 千分ノ二

十 合併ニ因ル會社資本ノ増加 合併ニ因ル會社資本ノ増加 千分ノ二

十一 增資拂込株金額及財產ヲ目的トス 增資拂込株金額及財產ヲ目的トス 千分ノ二

十二 社債 拂込金額 千分ノ二

十三 支店設置 本店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十四 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十五 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十六 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十七 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十八 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

十九 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

二十 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

二十一 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

二十二 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

二十三 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

二十四 支店又ハ支店ノ移轉每一件金七圓

九百五十一

十五 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止 金七圓
 但シ商法施行法ニ依リ新ニ登記スヘキ事項
 ノ登記ハ登記事項ノ變更ト看做ス
 十六 登記ノ更正又ハ抹消 每一件 金七圓
 十六ノ二 合名會社、合資會社設立ノ取消
 十七 解散 每一件 金五圓
 十八 清算人選任 解任又ハ變更 每一件 金五圓
 十九 清算ノ終了 每一件 金壹圓五拾錢
 支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキ
 ハ每一件金壹圓五拾錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ
 財團法人又ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ニシ
 テ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ
 納ムヘシ
 一 法人ノ設立、法人設立後ノ事務所設置、
 事務所ノ移轉 每一件 金壹圓五拾錢
 二 登記事項ノ變更消滅又ハ廢止、登記ノ更
 正又ハ抹消、解散、清算人ノ選任解任又ハ
 變更、清算ノ終了 每一件 金七拾錢
 産業組合、産業組合聯合會、産業組合中央會又
 ハ漁業組合、漁業組合聯合會ニシテ登記ヲ受ク

九百五十二
 ル場合ニハ前二項ノ規定ニ依ル但シ産業組合原
 簿又ハ産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ登録
 稅ヲ課セス主タル事務所ニアラサル事務所所在
 地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件
 金七拾錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ
 第六條ノ二 左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ
 左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 一 商號ノ新設又ハ取得 每一件 金七圓
 二 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金七圓
 三 船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金七圓
 四 商法第五條、第七條ニ依ル登記 每一件 金參圓
 五 民法第七百九十四條、第七百九十五條及
 第七百九十七條ニ依ル登記 每一件 金參圓
 六 登記事項ノ變更消滅又ハ廢止 每一件 金壹圓五拾錢
 七 登記ノ更正又ハ抹消 每一件 金壹圓五拾錢
 支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルト
 キハ每一件金七拾錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ

第七條 左ノ事項ニ付キ辯護士名簿ニ登録ヲ請
 フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 一 新規登録 金貳拾圓
 二 登録換 金拾圓
 三 取消ノ請求 金壹圓
 第八條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ醫師
 藥劑師、獸醫、蹄鐵工ハ左ノ區別ニ從ヒ登録
 稅ヲ納ムヘシ
 一 新規登録
 醫師 金貳拾圓
 藥劑師 金拾貳圓
 獸醫 金拾貳圓
 蹄鐵工 金五圓
 假閉業醫師 金五圓
 假免許獸醫 金參圓
 假免許蹄鐵工 金壹圓
 第九條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ海員
 ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 一 新規登録
 一 甲種船長 金拾五圓
 甲種一等運轉士 金拾圓
 甲種二等運轉士 金六圓

乙種一等運轉士 金拾圓
 乙種二等運轉士 金四圓
 丙種船長 金參圓
 丙種運轉士 金六圓
 機關長 金貳圓
 一等機關士 金拾五圓
 二等機關士 金拾圓
 三等機關士 金六圓
 水先人 金參圓
 第十條 登錄事項ノ變更 每一件 金貳拾圓
 一 著作權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ
 區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 一 著作權ノ移轉 每一件 金壹圓
 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓
 二 著作權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額 千分ノ六
 三 前號ノ權利ノ移轉 每一件 金五十錢
 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
 九百五十三

- 四 無名又ハ變名著作物ノ著作ノ實名登録 每一件 金一圓
- 五 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二圓

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十一條 特許ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 特許權ノ移轉 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 二 使用權又ハ實施權ノ設定又ハ保存 每一件 金十圓
- 三 前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定 每一件 金五圓
- 四 前二號ノ權利ノ移轉 債權金額千分ノ六
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
- 五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第

三號ノ權利ノ處分ノ制限

- 六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 債權金額千分ノ四 每一件 金二十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十二條ノ二 實用新案ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 實用新案權ノ移轉 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 二 使用權又ハ實施權ノ設定又ハ保存 每一件 金五圓
- 三 前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額千分ノ六
- 四 前二號ノ權利ノ移轉 每一件 金五十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
- 五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第

九百五十四

- 五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第 三號ノ權利ノ處分ノ制限 債權金額千分ノ四
- 六 登録ノ更正、又ハ抹消變更 每一件 金五十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十二條 匠意ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 匠意權ノ移轉 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 二 實施權ノ設定又ハ保存 每一件 金二圓
- 三 前二號ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定 每一件 金一圓
- 四 前二號ノ權利ノ移轉 債權金額千分ノ六
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
- 五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第

三號ノ權利ノ處分ノ制限

- 六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 債權金額千分ノ四 每一件 金二十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十三條 商標ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ但シ聯合商標ニ在リテハ各其ノ半額トス

- 一 商標權ノ移轉 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 二 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金十圓
- 第十四條 礦業權ニ關シ礦業原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
- 一 試掘權ノ設定 每一件 金五十錢
- 二 試掘權ノ變更 每一件 金百圓
- 增區又ハ増減區 每一件 金四十五圓
- 減區 每一件 金十圓

九百五十五

- 三 試掘權ノ移轉
相續 每一件 金十圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金四十五圓
- 四 採掘權ノ設定
新規登錄 每一件 金二百圓
鑛區合併 每一件 金五十圓
鑛區分割 設定鑛區 每一件 金五十圓
- 五 採掘權ノ變更
鑛區訂正 每一件 金五十圓
增區又ハ増減區 每一件 金百圓
減區 每一件 金二十圓
- 六 採掘權ノ移轉
相續 每一件 金二十圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金百圓
- 七 抵當權ノ設定
新規登錄 債權金額千分ノ六
鑛業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定 每一件 金五圓

- 九百五十六
- 八 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更
相續 每一件 金十圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓
- 九 抵當權ノ移轉
相續 每一件 金五圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓
- 十 共同鑛業權者ノ脱退 每一件 金五圓
- 十一 滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限 債權金額千分ノ四
- 十二 廢業ニ因ル鑛業權ノ消滅 每一件 金五圓
- 十三 登錄ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金十錢
- 債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノ、價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 第十五條 砂鑛業ニ關シ砂鑛業原簿ニ登錄ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ
- 一 砂鑛權ノ設定

- 新規登錄 採取區域其ノ他ハ每十萬坪迄 河床ハ每二里迄
- 砂鑛區合併 每一件 金三圓
- 砂鑛區分割 設定砂鑛區每一箇金三圓
- 二 砂鑛權ノ變更
增區 採取區域其ノ他ハ每十萬坪迄 河床ハ每二里迄
- 減區 每一件 金十五圓
但シ增區ト同時ニ爲ス減區ニ付テハ此ノ限ニ在ラス 每一件 金一圓
- 三 砂鑛權ノ移轉
相續 每一件 金五圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十五圓
- 抵當權ノ設定 債權金額 千分ノ六
- 新規登錄 砂鑛區ノ合併又ハ分割ノ出願ニ付砂鑛法ニ基キ爲シタル承諾又ハ協定ニ因ル設定 每一件 金五圓

- 五 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更 每一件 金十圓
- 六 抵當權ノ移轉
相續 每一件 金五圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金十圓
- 七 滯納處分以外ノ原因ニ因ル砂鑛權又ハ抵當權ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四
- 八 廢業ニ因ル砂鑛權ノ消滅 每一件 金一圓
- 九 登錄ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金十錢
- 債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 第十五條ノ二 漁業權又ハ入漁權ニ關シ免許漁業原簿ニ登錄ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ
- 一 漁業權ノ移轉
相續 每一件 金一圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 九百五十七

- 二 漁業權ノ持分ノ移轉 每一件 金五圓
- 相續 每一件 金二十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
- 三 入漁權ノ設定 每一件 金三圓
- 四 入漁權ノ保存 每一件 金五十錢
- 五 入漁權ノ移轉 每一件 金五十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金二十圓
- 六 入漁權ノ持分ノ移轉 每一件 金十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五十錢
- 七 賃借權ノ取得 每一件 金五十錢
- 相續以外ノ原因ニ因ル取得 每一件 金二十圓
- 八 先取特權ノ保存又ハ取得 債權金額又ハ工事費用豫算金額 千分ノ六

- 九 九百五十八 抵當權ノ設定又ハ移轉 債權金額 千分ノ六
- 設定 每一件 金一圓
- 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金二十圓
- 十 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ六
- 十一 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四
- 十二 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ六
- 十三 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登録ノ回復 每一件 金二十錢
- 十四 假登録 每一件 金二十錢
- 十五 附記登録 每一件 金十錢
- 十六 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金十錢
- 債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 第十六條 左ノ場合ニ於テ不動産又ハ船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區分ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 府縣郡市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ニ因ル府縣郡市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ府縣郡市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存 千分ノ一
- 二 市町村ノ一部ニ屬スル財產ヲ無償名義ニ因リ其ノ市町村ニ移ス場合ニ於ケル市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存 千分ノ一
- 三 法人ノ合併ニ因ル法人ノ權利ノ取得 千分ノ五
- 不動産又ハ船舶ノ價格 千分ノ五
- 他ノ規定ニ依リ算出シタル稅額カ前項第三號ニ依ル稅額ヨリ少キトキハ其ノ稅額ニ依ル前二項ノ場合ニ於テ稅金額拾錢未滿ナルトキハ拾錢トス
- 第十七條 登録稅ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十八條 登録稅ハ總テ金壹錢以上トス壹錢未滿ノ端數ハ壹錢トシテ之ヲ計算ス
- 第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録稅ヲ課セス
- 一 政府自己ノ爲ニスル登記又ハ登録
- 二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ノ登記又ハ登録

- 三 社寺、堂宇ノ敷地及墳墓地ニ係ル登記又ハ登録
- 四 明治六年第十八號及吉地所質入書入規則及同八年第四百四十八號布告ノ物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テ債權者ヨリ申請スル登記
- 第十九條ノ二 登記所カ登記申請者ノ申告シタル課稅標準ノ價格ヲ不相當ト認ムルトキハ其ノ價格ヲ認定シ之ヲ登記申請者ニ告知スヘシ
- (改正大正三年法律第二十一號)
- 第十九條ノ三 前條ノ認定ヲ不當トスル登記申請者ハ費用ヲ豫納シテ評價人ノ評價ヲ登記所ニ請求スルコトヲ得(追加同上以下同シ)
- 前項ノ請求アリタルトキハ登記所ハ二人ノ評價人ヲ選定シ課稅標準ノ價格ヲ評定セシム評價人ノ評價同一セサルトキハ其ノ平均價格ニ依ル
- 評定價格カ認定價格ヨリ多キトキハ認定價格ニ依リ申告價格ヨリ少キトキハ申告價格ニ依リ課稅標準ノ價格ヲ定ム
- 第十九條ノ四 前條ノ評價ニ不服アル登記申請者ハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ七日内ニ管轄地方裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
- 異議ニ付テノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十九條ノ五

登記申請者カ評價ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テ申告價格ニ相當スル稅額ト認定價格ニ相當スル稅額トノ差額ヲ納付シタルトキハ登記所ハ直ニ登記ヲ爲スヘシ

第十九條ノ六

當該事件ニ關係ヲ有スル者ハ評價人タルコトヲ得ス

第十九條ノ七

評價人ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ旅費及手當ヲ受ク

第十九條ノ八

評價ニ要シタル費用ハ登記申請者ノ負擔トス但シ評定價格カ申告價格ニ超エサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條ノ九

評價ノ費用ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附則

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス但シ第十條ハ著作權法施行ノ日ヨリ施行ス

●登録税法施行規則

(明治三十二年五月勅令第二百五號)

第一條

印紙ヲ以テ納ムル登録稅ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納ムヘシ

第二條

登録稅額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得

第三條

官廳又ハ公署ヨリ登記若ハ假登記又ハ登録若ハ假登録ヲ登記所又ハ登録官廳ニ囑託

旅費ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定メ其ノ支給ニ付テハ内國旅費規則ヲ準用ス(追加同上)

一

鐵道賃一哩ニ付金三錢

二

船賃一海里ニ付金四錢

三

車馬賃一里ニ付金二十五錢

四

宿泊料一夜ニ付金一圓五十錢

五

日當一日ニ付金一圓

第八條

當チ支給セス

第八條

登録稅法第十九條ノ七ニ依リ評價人ノ手當ハ評價ニ從事シタル日數ニ應シ一日金一圓以上五圓以下ノ範圍内ニ於テ登記所ノ見込チ以テ之ヲ定ム(同上)

●登録税法施行規則第

四條ニ依リ印紙ヲ提

出シタル者アル時取

扱方ノ件

(明治三十一年五月大藏省訓令第三十八號)

登録稅法施行規則第四條ニ依リ印紙ヲ提出シタル者アルトキハ左ノ通取扱フヘシ

一 稅務署ハ印紙ノ提出者ニ對シ其ノ領收書

ヲ交付スヘシ但シ提出者ノ面前ニ於テ以下

スヘキ場合ニ於テハ登録稅ヲ納ムヘキ者其ノ官廳又ハ公署ニ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ提出シ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ其ノ印紙ヲ貼用シ又ハ其ノ證書ヲ付添シテ登記所又ハ登録官廳ニ送付スヘシ(改正大正三年十月勅令第二二五號)

第四條

土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ書類ヲ提出セサルトキハ稅務署ノ通知ニ依リ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ稅務署ニ提出スヘシ

第五條

土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ相當印紙ヲ貼用セス若ハ提出セス又ハ現金納付ノ手續ヲ爲ササルトキハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得

第五條ノ二

管海官廳カ船舶法第十四條第二項ニ依リ抹消ノ登録ヲ爲シ其ノ旨稅務署ニ通知シタルトキハ稅務署ハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ登録稅ヲ徵收スヘシ

第六條

登録稅法第十九條ノ三ニ依リ評價ノ請求ヲ爲ス者アルトキハ登記官吏ハ豫納スヘキ費用ヲ指示スヘシ(改正大正三年十月勅令第二二五號)

第七條

登記申請者ノ豫納スヘキ費用ハ評價人ノ手當旅費及手續ノ費用ニ相當スル金額トス

第七條

登録稅法第十九條ノ七ニ依リ評價人ノ

三項ノ手續ヲ爲シタルトキハ領收書ノ交付ヲ要セス

二

土地ノ異動ニ關シ土地所有者ヨリ願出又ハ届出アリタルニ依リ土地臺帳ノ登録ヲ要スルニ至リタル場合ニ於テハ土地ノ異動ニ關スル願書又ハ届書ニ其ノ印紙ヲ貼用シ置クヘシ

三

土地ノ異動ニ關シ官廳ヨリ通知アリタルニ依リ土地臺帳ノ登録ヲ要スルニ至リタル場合ニ於テハ其通知書ニ其印紙ヲ貼付シ置クヘシ

四

前二項ヲ除ク外ノ場合ニ於テハ土地所有者ノ住所、氏名、登録ヲ要スル土地ノ所在地、地番、地目、地價及ヒ登録稅法第五條中該當事項ヲ記シタル調査書ヲ作リ之ニ其ノ印紙ヲ貼用スヘシ

五

貼付シタル印紙ニハ書類ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケ黒肉ヲ用ヒテ消印ヲ押捺スヘシ

六

二項乃至四項ニ依リ印紙ヲ貼付シタル書類ハ少ナクとも毎月一回上司ニ於テ檢閲シ貼付印紙及ヒ消印ノ有無當否ヲ調査スヘシ

●收入印紙ニ關スル件

(明治三十一年七月勅令第四百四號)

證券印紙、煙草印紙、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ヲ貼用スヘキ場合ニハ自今一様ノ收入

印紙ヲ用フヘシ其ノ形式ハ大藏大臣之ヲ定ム但シ從來ノ證券印紙、煙草印紙、訴訟用印紙、賣藥印紙、登記印紙ハ當分ノ内收入印紙ニ代ヘ使用スルコトヲ得

●收入印紙ノ形式

(明治三十一年七月大藏省第十二號) 明治三十一年勅令第四百十號ニ依ル收入印紙ノ形式左ノ通相定ム

壹厘	萌黃色	地紋	淡青色
貳厘	橙黃色	地紋	黃青色
參厘	濃青色	地紋	淡紫色
五厘	赭青色	地紋	淡綠色
壹錢	淡青色	地紋	黃綠色
貳錢	綠色	地紋	淡紫色
五錢	紫色	地紋	淡綠色
(以下四十二年六月大藏省令第四十號ヲ以テ改正)			
十錢	上模樣	赤色	赤色
五十錢	上模樣	赤色	赤色
壹圓	上模樣	赤色	赤色
五圓	上模樣	赤色	赤色
十圓	上模樣	赤色	赤色
五十圓	上模樣	赤色	赤色
百圓	上模樣	赤色	赤色

九百六十二

金額ハ各相當額ヲ記ス (雛形ハ之ヲ略ス)

●登記印紙ヲ貼附シタル書類ヲ收受シタル時其消印及檢閱ニ關スル件

(明治三十年八月大藏省訓令第四十八號) 登記印紙ヲ貼付シタル書類ヲ收受シタルトキハ其ノ收受スヘキモノナルコトヲ認メタル後當該主任者ニ於テ書類ノ紙面ト貼付印紙ノ彩紋トニ掛ケ黒肉ヲ用テ消印ヲ捺スヘシ 登記印紙ヲ貼付スヘキ書類ハ少クモ毎月一回上司ニ於テ檢閲シ貼付印紙ノ當否及消印ノ有無ヲ調査スヘシ

手数料之部

●土地、建物、工場財團、鑛業財團、立木及ヒ商業登記簿ノ謄本抄

本ノ請求等ニ關スル手数料

(明治三十二年司法省令第十四號)

土地登記簿、建物登記簿、工場財團登記簿、鑛業財團登記簿、立木登記簿及ヒ商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料左ノ通相定ム (改正三十八年司法省令第二十號四十二年四月同第六號)

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス 共同擔保目錄ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金五錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ謄寫セサル用紙ニ付キ亦同シ (追加大正二年省令第二十五號)

第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記簿ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求スル場合ニハ之ヲ適用セス

●永代借地及ヒ永代借地上ニ存スル建物登記簿同上

(明治三十四年九月二十一日司法省令第十六號) 永代借地及ヒ永代借地上ニ存スル建物ノ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求又ハ登記簿若クハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號ノ規定ヲ準

九百六十三

用ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十二年司法省令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

●法人及夫婦財產契約

登記簿同上

- (三十二年六月十一日司法省令第三十四號)
- 第一條 非訟事件手續法第二百二十五條ノ規定ニ依リ法人登記簿及夫婦財產契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
 - 第二條 非訟事件手續法第二百二十五條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ
 - 第三條 明治三十二年司法省令第十五號第十條ノ規定ニ依リ法人又ハ夫婦財產契約ノ登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ
 - 第四條 非訟事件手續法第四十二條第一項又ハ第五十七條第一項ノ規定ニ依リ書類ノ謄本ノ

九百六十四

交付ヲ請求スル者ハ其謄本一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一行二十字詰二十行ヲ以テ一枚トシ十一行以上ハ一枚ニ計算シ十行以下ハ半枚ニ計算ス

- 第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
- 第六條 前五條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス
- 第七條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 第八條 明治三十一年司法省令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●船舶登記簿同上

- (三十二年六月十五日司法省令第三十七號)
- 第一條 船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
 - 第二條 船舶登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

共同擔保目錄ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金五錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ謄寫セサル用紙ニ付キ亦同シ(追加大正二年省令第二十六號)

- 第三條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五拾錢ヲ納ムヘシ
- 第四條 特別登記簿ニ船舶ニ關スル登記ヲキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金拾錢ヲ納ムヘシ
- 第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
- 第六條 第一條乃至第四條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス
- 第七條 本令ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●相互保險會社登記簿

同上

(三十三年六月三十日司法省令第十九號)

相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求等ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

●外國相互保險會社登記簿同上

(三十三年九月二十七日司法省令第三十六號)
外國相互保險會社登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求等ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及ヒ第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

●產業組合、產業組合聯合會及產業組合中央會ノ登記簿同上

(明治三十三年七月司法省令第三十號)
產業組合登記簿、產業組合聯合會登記簿及產業組合中央會登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求等ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令九百六十五

第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス(改正四十二年司法省令第十八號)

◎森林組合登記簿同上

(四十一年一月十六日司法省令第二號)

森林組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

◎漁業組合登記簿及漁業組合聯合會登記簿

ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ノ件

付ノ請求等ニ關スル手數料ノ件

(四十四年三月一日司法省令第二號)

漁業組合登記簿及漁業組合聯合會登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

九百六十六

本令ハ漁業組合施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記

所ニ請求スル者ノ納ムル手數料ニ關スル件

件

(四十二年七月二十日司法省令第十六號)

私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所ニ請求スル者ハ每一件ニ付手數料三十錢ヲ納ムヘシ前項ノ手數料ハ收入印紙ヲ請求書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

附則

本令ハ明治四十二年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス明治三十一年司法省令第十一號ハ之ヲ廢止ス

◎印紙稅法

(明治三十二年三月九日法律第五十四號)

第一條 財產權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書、帳簿及財產權ニ關スル追認

金高十萬圓ヲ超ユルモノノ印紙稅 七圓
第四條 左ニ掲グル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ下ニ定ムル所ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

- 一 委任狀 印紙稅二錢
- 一 爲替手形 印紙稅三錢
- 一 銀行預金證書 印紙稅三錢
- 一 船荷證券 印紙稅三錢
- 一 運送貨物引換證 印紙稅三錢
- 一 倉荷預證券 印紙稅三錢
- 一 倉荷質入證券 印紙稅三錢
- 一 保險證券 印紙稅三錢
- 一 株券 印紙稅三錢
- 一 債券 印紙稅三錢
- 一 株式申込證 印紙稅三錢
- 一 地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 印紙稅三錢
- 一 使用貸借、貸貸借、雇傭、寄託、定期金ニ關スル契約證書 印紙稅貳錢
- 一 定款及組合契約書 印紙稅三錢
- 一 權利ノ變更ニ關スル證書 印紙稅三錢
- 一 追認、承認ニ關スル證書 印紙稅三錢

九百六十七

若ハ承認ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ

第二條 證書ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限リ記載金高一萬分ノ五ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五拾圓トナルトキハ五拾圓ニ止メ壹錢未滿トナリ又ハ壹錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ壹錢ニ切上グルモノトス

金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價額ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第三條 約束手形ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高ニ應シ左ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

- 金高二百圓以下ノモノ 印紙稅 三錢
- 金高千圓以下ノモノ 印紙稅 五錢
- 金高五千圓以下ノモノ 印紙稅 十錢
- 金高一萬圓以下ノモノ 印紙稅 二十錢
- 金高二萬圓以下ノモノ 印紙稅 五十錢
- 金高三萬圓以下ノモノ 印紙稅 一圓
- 金高五萬圓以下ノモノ 印紙稅 二圓
- 金高十萬圓以下ノモノ 印紙稅 四圓

- 一 物品切手 印紙稅三錢
 - 一 賣買仕切書 印紙稅三錢
 - 一 送狀 印紙稅三錢
 - 一 受取書 印紙稅三錢
 - 一 金高記載ナキ證書 印紙稅三錢
 - 一 擔保品差入證書擔保品預證書 印紙稅三錢
 - 一 通帳 印紙稅三錢
 - 一 判取帳 印紙稅貳拾五錢
- 第五條** 左ニ掲グル證書帳簿ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス
- 一 官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
 - 一 官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書、帳簿
 - 一 國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書
 - 一 慈善又ハ公共事業ノ爲ニスル金員物件ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳若ハ公署ニ提出スル證書
 - 一 俸給、給料、歳費、手當金、賞與金、年金、恩給金、扶助料、旅費及救恤金ノ受取書
 - 一 小切手

- 九百六十八
- 一 金高五圓未滿ノ爲替手形、約束手形
 - 一 金高一圓未滿ノ物品切手
 - 一 金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ運送契約ニ依ラサル送狀
 - 一 金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ營業ニ關セサル受取書
 - 一 金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ非營業者ニ發スル賣買仕切書
 - 一 主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約
 - 一 證券ノ裏書及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書
 - 一 株券、債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載
 - 一 手形ノ引受、保證
 - 一 手形及證券ノ拒絕證書
 - 一 手形及證券ノ複本、謄本
- 第六條** 印紙稅ハ證書、帳簿、印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ印紙稅額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ稅印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得
- 第七條** 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス
- 第八條** 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スル

- ヲキハ內國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
- 第九條** 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ
- 第十條** 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿、賣買仕切書、送狀ハ當該官吏之ヲ検査スルコトアルヘシ
- 第十一條** 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第六條但書ニ依リ稅印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ稅稅高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス
- 第十二條** 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ貳圓以上ノ科料ニ處ス
- 第十三條** 第九條ニ違背シタル者ハ壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
- 第十四條** 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪、減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス
- 附 則
- 第十五條** 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
- 第十六條** 明治十七年第十一號布告證券印稅規

則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十七條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ稅金高以上ニ之ヲ使用セムトスルトキハ其ノ不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ

製表之部

●登記統計ニ關スル件

司法省訓令第三號(明治三十二年十一月二十七日)

地方裁判所
區裁判所
區裁判所出張所

登記ニ關スル統計材料ハ明治三十二年分ヨリ左ノ様式ニ倣ヒ調製シ翌年二月限り當省へ差出スヘシ

(用紙美濃)

明治何年分

登記統計年表

某區裁判所(又ハ某區裁判所某出張所)

九百七十

第一表 不動産及船舶登記

種別	甲				件數	箇數	登錄稅 可 錢	登錄稅ヲ課セサルモノ 政府自己ノ爲ニ スル登記	其 他
	家督相續ニ因ル 所有權ノ取得	遺產相續ニ因ル 所有權ノ取得	遺言、贈與其他 無償名義ニ因ル 所有權ノ取得	賣買ニ因ル所有 權ノ取得					

九百七十一

假差押、假處分	強制管理ノ申立	強制競賣ノ申立	抵當權ノ取得	質權ノ取得	先取特權保存又ハ取得	建土		船建土		建土		船建土	
						計	地	計	地	計	地	計	地

地役權ノ取得	賃借權ノ取得	地上權ノ取得 永小作權ノ取得	共有物ノ分割	從有保有セル所有權ノ保存	其他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得	建土		船建土		建土		船建土	
						計	地	計	地	計	地	計	地

耕地整理ニ因ル登記	種別		件數		甲	號	乙	號
			筆	整理施行前				
							閱覽	膽寫

第一表ノ二 耕地整理ニ因ル登記

(明治三十三年司法省訓令第六號ヲ以テ追加)

合計	船舶	建物	土地	種別	件數		登記ノ抹消		
					乙	政府ノ利益ノ爲ニスル請求件數	合計	登記ノ抹消	
								船舶	土地
				膽本抄本閱覽					
				登記書					
				特別登記ノキコトノ證明					
				計					
				手数料					
				胆本抄本閱覽					
				登記書					
				特別登記ノキコトノ證明					
				計					

第二表 營利ヲ目的トセサル 法人登記

種別	種別				合計	種別	種別	種別
	社団法人	財団法人	財団法人	財団法人				
種別	種別				合計	種別	種別	種別
	主たる事務所	其他ノ事務所	主たる事務所	其他ノ事務所				
設立ノ事務所ノ設置								
設立後ノ事務所ノ移轉								
解散								
清算ノ結了								
登記事項ノ變更								
登記事項ノ更正								
登記事項ノ消滅								
計								
登録税								
手數料								

第三表 夫婦財産契約登記

種別	種別				合計	種別	種別
	夫婦財産ノ契約	夫婦財産ノ契約	夫婦財産ノ契約	夫婦財産ノ契約			
登記							
登記事項ノ變更							
登記事項ノ更正							
登記事項ノ消滅							
計							
登録税							
手數料							

第四表 商號、未成年者、妻、法定代理人及支配人登記

種別	商號		未成年者	妻	法定代理人	支配人	合計
	本店	支店					
登記件							
登記事項 變更							
登記事項 更正							
登記事項 消滅							
登記 計							
登錄稅							
種別	商號		未成年者	妻	法定代理人	支配人	合計
	別						
膽本抄本閱覽							
登記簿證							
計							
手數料							

第五表 商事會社登記

種別	合名會社		合資會社		株式會社		株式合資會社		外國會社		合計
	本店	支店	本店	支店	本店	支店	本店	支店	本店	支店	
設立											
增加資本											
逋拂金株											
增加發行											
置設店支											
轉移店											
解散											
解散變更											
了結											
變更正消											
計											
登錄稅											

